令和 5 年度　病院事業決算状況　　都道府県名　岩手県　　総務省

－ 目次 －

市町村・組合名	病院名	ページ
-	中央病院	2
-	大船渡病院	3
-	釜石病院	4
-	宮古病院	5
-	胆沢病院	6
-	磐井病院	7
-	遠野病院	8
-	高田病院	9
-	久慈病院	10
-	江刺病院	11
-	千厩病院	12
-	中部病院	13
-	二戸病院	14
-	一戸病院	15
-	大槌病院	16
-	山田病院	17
-	軽米病院	18
-	大東病院	19
-	東和病院	20
-	南光病院	21
盛岡市	盛岡市立病院	22
一関市	一関市国民健康保険藤沢病院	23
八幡平市	八幡平市立病院	24
奥州市	奥州市総合水沢病院	25
奥州市	奥州市国民健康保険まごころ病院	26
葛巻町	国保葛巻病院	27
西和賀町	町立西和賀さわうち病院	28
洋野町	国保種市病院	29

病院事業決算状況（令和５年度）

都道府県名	岩手県
市町村・組合名	
病院名	中央病院

※特殊診療機能欄　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※指定病院の状況欄　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透Ｉ　訓ガ
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	53,660 ㎡	不採算地区中核病院	非該当
診療科数	29	指定病院の状況	救臨が　へ災地
許可公営企業		看護配置	７：１
ＤＰＣ対象病院	対象	経営形態	直営
		類似区分	500床以上

病床利用率・平均在院日数				(%・日)
区分	病床数	令和５年度	令和４年度	令和３年度
一般	685	68.3	70.7	71.9
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	685	68.3	70.7	71.9
平均在院日数（一般病床のみ）		10.9	11.3	11.3

設立団体の状況		
人口 (人)		1,210,534
決算規模 (千円)		756,669,461
標準財政規模 (千円)		390,645,538
財政力指数		0.35095
経常収支比率 (%)		92.6
健全化判断比率	実質赤字比率 (%)	-
	連結実質赤字比率 (%)	-
	実質公債費比率 (%)	12.7
	将来負担比率 (%)	201.1

損益計算書　(千円・%)

区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	26,899,098			
１ 経常収益	26,899,098			
（１）医業収益	23,335,268			
（うち修正医業収益）	22,665,154			
① 入院収益	15,154,689			
② 外来収益	7,128,159			
診療収入計	22,282,848			
③ 繰延運営権対価収益	-			
④ 運営権者更新投資収益	-			
⑤ その他医業収益	1,052,420			
（うち他会計負担金）	670,114			
（２）医業外収益	3,563,830			
（うち国・都道府県補助金）	205,908			
（うち他会計補助・負担金）	2,444,250			
（うち長期前受金戻入）	579,027			
（うち資本費繰入収益）	-			
（３）特別利益	-			
（うち他会計繰入金）	-			
総費用	26,928,293			
２ 経常費用	26,928,293			
（１）医業費用	25,599,446			
① 職員給与費	12,516,559	53.6	58.7	51.4
② 材料費	8,516,663	36.5	26.9	32.6
（うち薬品費）	4,370,356	18.7	14.8	18.5
（うち薬品費以外の医薬材料費）	4,015,064	17.2	11.7	13.9
③ 減価償却費	1,240,480	5.3	8.5	7.4
④ 経費	3,168,022	13.6	21.5	16.9
（うち委託料）	1,278,830	5.5	11.5	10.0
⑤ 研究研修費	117,896			
⑥ 資産減耗費	39,826			
（２）医業外費用	1,328,847			
（うち支払利息）	74,371	0.3	0.9	0.8
（３）特別損失	-			
損益 経常損益	-29,195			
損益 純損益	-29,195			
累積欠損金	-			
経常収支比率	99.9		96.5	97.6
医業収支比率	91.2		86.0	91.7
修正医業収支比率	88.5		83.2	89.8
他会計繰入金対経常収益比率	11.6		11.5	7.2
他会計繰入金対医業収益比率	13.3		13.7	8.1
他会計繰入金対総収益比率	11.6		11.5	7.2
実質収益対経常費用比率	88.3		85.4	90.5

備考：
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表　(千円)

区分	決算額
資産合計	207,284,511
１ 固定資産	183,246,810
（１）有形固定資産	173,944,666
（２）無形固定資産	2,433,875
（３）投資その他の資産	6,868,269
２ 流動資産	24,037,701
（１）現金及び預金	3,419,730
（２）未収金及び未収収益	19,942,624
（３）貸倒引当金（△）	35,904
（４）貯蔵品	662,600
３ 繰延資産	-
負債合計	131,396,482
１ 固定負債	98,196,618
（１）建設改良費等の財源に充てるための企業債	58,676,913
（２）その他の企業債	2,091,573
（３）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
（４）その他の長期借入金	8,000,000
（５）引当金	29,428,132
（６）リース債務	-
２ 流動負債	23,332,579
（１）建設改良費等の財源に充てるための企業債	10,686,459
（２）その他の企業債	338,207
（３）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
（４）その他の長期借入金	-
（５）引当金	3,875,464
（６）リース債務	-
（７）一時借入金	-
（８）未払金及び未払費用	7,844,266
（９）前受金及び前受収益	-
３ 繰延収益	9,867,285
（１）長期前受金	34,161,454
（２）長期前受金収益化累計額（△）	24,294,169
（３）繰延運営権対価	-
（４）繰延運営権対価収益化累計額（△）	-
（５）運営権者更新投資	-
（６）運営権者更新投資収益化累計額（△）	-
資本合計	75,888,029
１ 資本金	27,336,629
２ 剰余金	48,551,400
（１）資本剰余金	91,373,303
（２）利益剰余金	-42,821,903
負債・資本合計	207,284,511
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額（△）	-
資本不足額（繰延収益控除後）（△）	-

備考
当該貸借対照表の数値は、事業単位（当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある）の決算額である。

他会計からの繰入状況 (千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	2,291,922	3,114,364
資本勘定繰入	849,448	1,297,345
計	3,141,370	4,411,709

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額 (千円)	不良債務比率 (%)
令和５年度	-	-
令和４年度	-	-
令和３年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率 (%)	45.4
健全化法上の資金不足額 (千円)	-
健全化法上の資金不足比率 (%)	-
地財法上の資金不足額 (千円)	-
地財法上の資金不足比率 (%)	-

備考：

・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうちの他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。

・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
うちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から
他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
占める割合をいう。

・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補塡債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況（令和５年度）

都道府県名	岩手県

市町村・組合名	
病院名	大船渡病院

※特殊診療機能欄　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※指定病院の状況欄　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透Ｉ　訓ガ
病院区分	一般病院	不採算地区病院	
建物面積	33,129 ㎡	不採算地区中核病院	第１種該当
診療科数	21	指定病院の状況	救臨が感　災
許可公営企業		看護配置	１０：１
ＤＰＣ対象病院	対象	経営形態	直営
		類似区分	400床以上～500床未満

病床利用率・平均在院日数　（%・日）

区分	病床数	令和５年度	令和４年度	令和３年度
一般	370	51.0	52.2	50.2
療養	-	-	-	-
結核	10	-	-	-
精神	105	18.9	22.2	27.3
感染症	4	17.1	76.6	48.8
計	489	43.1	45.1	44.5
平均在院日数（一般病床のみ）		11.9	12.3	12.3

設立団体の状況		
人口（人）		1,210,534
決算規模（千円）		756,669,461
標準財政規模（千円）		390,645,538
財政力指数		0.35095
経常収支比率（%）		92.6
健全化判断比率	実質赤字比率（%）	-
	連結実質赤字比率（%）	-
	実質公債費比率（%）	12.7
	将来負担比率（%）	201.1

損益計算書　（千円・%）

区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	8,967,697			
１経常収益	8,967,697			
（1）医業収益	7,302,287			
（うち修正医業収益）	6,901,577			
①入院収益	4,425,578			
②外来収益	2,196,394			
診療収入計	6,621,972			
③繰延運営権対価収益	-			
④運営権者更新投資収益	-			
⑤その他医業収益	680,315			
（うち他会計負担金）	400,710			
（2）医業外収益	1,665,410			
（うち国・都道府県補助金）	113,919			
（うち他会計補助・負担金）	1,089,495			
（うち長期前受金戻入）	416,143			
（うち資本費繰入収益）	-			
（3）特別利益	-			
（うち他会計繰入金）	-			
総費用	9,746,777			
２経常費用	9,746,777			
（1）医業費用	9,222,523			
①職員給与費	4,952,393	67.8	58.7	55.7
②材料費	1,853,710	25.4	26.9	28.9
（うち薬品費）	911,316	12.5	14.8	15.8
（うち薬品費以外の医薬材料費）	879,285	12.0	11.7	12.7
③減価償却費	883,002	12.1	8.5	7.9
④経費	1,478,367	20.2	21.5	18.1
（うち委託料）	524,286	7.2	11.5	10.0
⑤研究研修費	36,335			
⑥資産減耗費	18,716			
（2）医業外費用	524,254			
（うち支払利息）	91,947	1.3	0.9	0.9
（3）特別損失	-			
損益　経常損益	-779,080			
損益　純損益	-779,080			
累積欠損金	7,778,865			
経常収支比率	92.0		96.5	97.5
医業収支比率	79.2		86.0	90.0
修正医業収支比率	74.8		83.2	87.2
他会計繰入金対経常収益比率	16.6		11.5	9.6
他会計繰入金対医業収益比率	20.4		13.7	11.0
他会計繰入金対総収益比率	16.6		11.5	9.7
実質収益対経常費用比率	76.7		85.4	88.1

備考：
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表　（千円）

区分	決算額
資産合計	207,284,511
１固定資産	183,246,810
（1）有形固定資産	173,944,666
（2）無形固定資産	2,433,875
（3）投資その他の資産	6,868,269
２流動資産	24,037,701
（1）現金及び預金	3,419,730
（2）未収金及び未収収益	19,942,624
（3）貸倒引当金（△）	35,904
（4）貯蔵品	662,600
３繰延資産	-
負債合計	131,396,482
１固定負債	98,196,618
（1）建設改良費等の財源に充てるための企業債	58,676,913
（2）その他の企業債	2,091,573
（3）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
（4）その他の長期借入金	8,000,000
（5）引当金	29,428,132
（6）リース債務	-
２流動負債	23,332,579
（1）建設改良費等の財源に充てるための企業債	10,686,459
（2）その他の企業債	338,207
（3）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
（4）その他の長期借入金	-
（5）引当金	3,875,464
（6）リース債務	-
（7）一時借入金	-
（8）未払金及び未払費用	7,844,266
（9）前受金及び前受収益	-
３繰延収益	9,867,285
（1）長期前受金	34,161,454
（2）長期前受金収益化累計額（△）	24,294,169
（3）繰延運営権対価	-
（4）繰延運営権対価収益化累計額（△）	-
（5）運営権者更新投資	-
（6）運営権者更新投資収益化累計額（△）	-
資本合計	75,888,029
１資本金	27,336,629
２剰余金	48,551,400
（1）資本剰余金	91,373,303
（2）利益剰余金	-42,821,903
負債・資本合計	207,284,511
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額（△）	-
資本不足額（繰延収益控除後）（△）	-

備考
当該貸借対照表の数値は、事業単位（当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある）の決算額である。

他会計からの繰入状況　（千円）

区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,213,298	1,490,205
資本勘定繰入	750,745	1,302,651
計	1,964,043	2,792,856

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移

年度	不良債務額（千円）	不良債務比率（%）
令和５年度	-	-
令和４年度	-	-
令和３年度	-	-

資金不足等の状況

累積欠損金比率（%）	45.4
健全化法上の資金不足額（千円）	-
健全化法上の資金不足比率（%）	-
地財法上の資金不足額（千円）	-
地財法上の資金不足比率（%）	-

備考：

・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうちの他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。

・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
うちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から
他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
占める割合をいう。

・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補塡債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況（令和５年度）

都道府県名	岩手県

市町村・組合名	
病院名	釜石病院

※特殊診療機能欄　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※指定病院の状況欄　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透　訓　ガ
病院区分	一般病院	不採算地区病院	
建物面積	14,426 ㎡	不採算地区中核病院	第２種該当
診療科数	17	指定病院の状況	救　が　災　輪
許可公営企業		看護配置	１０：１
ＤＰＣ対象病院	対象	経営形態	直営
		類似区分	100床以上～200床未満

病床利用率・平均在院日数　（%・日）

区分	病床数	令和５年度	令和４年度	令和３年度
一般	180	60.4	52.7	49.6
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	180	60.4	52.7	49.6
平均在院日数（一般病床のみ）		14.9	17.0	15.5

設立団体の状況		
人口（人）		1,210,534
決算規模（千円）		756,669,461
標準財政規模（千円）		390,645,538
財政力指数		0.35095
経常収支比率（%）		92.6
健全化判断比率	実質赤字比率（%）	-
	連結実質赤字比率（%）	-
	実質公債費比率（%）	12.7
	将来負担比率（%）	201.1

損益計算書　（千円・%）

区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	4,814,241			
１ 経常収益	4,814,241			
（１）医業収益	3,838,580			
（うち修正医業収益）	3,677,140			
① 入院収益	2,342,326			
② 外来収益	1,231,786			
診療収入計	3,574,112			
③ 繰延運営権対価収益	-			
④ 運営権者更新投資収益	-			
⑤ その他医業収益	264,468			
（うち他会計負担金）	161,440			
（２）医業外収益	975,661			
（うち国・都道府県補助金）	219,055			
（うち他会計補助・負担金）	551,232			
（うち長期前受金戻入）	178,513			
（うち資本費繰入収益）	-			
（３）特別利益	-			
（うち他会計繰入金）	-			
総費用	5,144,931			
２ 経常費用	5,144,931			
（１）医業費用	4,915,491			
① 職員給与費	2,838,821	74.0	58.7	67.7
② 材料費	918,750	23.9	26.9	18.3
（うち薬品費）	412,141	10.7	14.8	8.6
（うち薬品費以外の医薬材料費）	466,976	12.2	11.7	9.1
③ 減価償却費	354,484	9.2	8.5	10.3
④ 経費	786,138	20.5	21.5	29.4
（うち委託料）	304,467	7.9	11.5	13.6
⑤ 研究研修費	14,138			
⑥ 資産減耗費	3,160			
（２）医業外費用	229,440			
（うち支払利息）	17,760	0.5	0.9	1.1
（３）特別損失	-			
損益 経常損益	-330,690			
損益 純損益	-330,690			
累積欠損金	3,385,681			
経常収支比率	93.6		96.5	95.4
医業収支比率	78.1		86.0	79.1
修正医業収支比率	74.8		83.2	74.9
他会計繰入金対経常収益比率	14.8		11.5	17.0
他会計繰入金対医業収益比率	18.6		13.7	21.8
他会計繰入金対総収益比率	14.8		11.5	17.1
実質収益対経常費用比率	79.7		85.4	79.2

備考：
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表　（千円）

区分	決算額
資産合計	207,284,511
１ 固定資産	183,246,810
（１）有形固定資産	173,944,666
（２）無形固定資産	2,433,875
（３）投資その他の資産	6,868,269
２ 流動資産	24,037,701
（１）現金及び預金	3,419,730
（２）未収金及び未収収益	19,942,624
（３）貸倒引当金（△）	35,904
（４）貯蔵品	662,600
３ 繰延資産	-
負債合計	131,396,482
１ 固定負債	98,196,618
（１）建設改良費等の財源に充てるための企業債	58,676,913
（２）その他の企業債	2,091,573
（３）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
（４）その他の長期借入金	8,000,000
（５）引当金	29,428,132
（６）リース債務	-
２ 流動負債	23,332,579
（１）建設改良費等の財源に充てるための企業債	10,686,459
（２）その他の企業債	338,207
（３）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
（４）その他の長期借入金	-
（５）引当金	3,875,464
（６）リース債務	-
（７）一時借入金	-
（８）未払金及び未払費用	7,844,266
（９）前受金及び前受収益	-
３ 繰延収益	9,867,285
（１）長期前受金	34,161,454
（２）長期前受金収益化累計額（△）	24,294,169
（３）繰延運営権対価	-
（４）繰延運営権対価収益化累計額（△）	-
（５）運営権者更新投資	-
（６）運営権者更新投資収益化累計額（△）	-
資本合計	75,888,029
１ 資本金	27,336,629
２ 剰余金	48,551,400
（１）資本剰余金	91,373,303
（２）利益剰余金	-42,821,903
負債・資本合計	207,284,511
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額（△）	-
資本不足額（繰延収益控除後）（△）	-

備考
当該貸借対照表の数値は、事業単位（当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある）の決算額である。

他会計からの繰入状況　（千円）

区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	569,416	712,672
資本勘定繰入	219,396	322,293
計	788,812	1,034,965

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移

年度	不良債務額（千円）	不良債務比率（%）
令和５年度	-	-
令和４年度	-	-
令和３年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率（%）	45.4
健全化法上の資金不足額（千円）	-
健全化法上の資金不足比率（%）	-
地財法上の資金不足額（千円）	-
地財法上の資金不足比率（%）	-

備考：

・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうちの他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。

・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
うちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から
他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
占める割合をいう。

・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補塡債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況（令和５年度）

都道府県名	岩手県
市町村・組合名	
病院名	宮古病院

※特殊診療機能欄　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※指定病院の状況欄　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透　訓ガ
病院区分	一般病院	不採算地区病院	
建物面積	23,890 ㎡	不採算地区中核病院	第２種該当
診療科数	20	指定病院の状況	救臨が感　災地　輪
許可公営企業		看護配置	１０：１
ＤＰＣ対象病院	対象	経営形態	直営
		類似区分	300床以上～400床未満

病床利用率・平均在院日数				(%･日)
区分	病床数	令和５年度	令和４年度	令和３年度
一般	320	59.2	59.8	65.0
療養	-	-	-	-
結核	10	7.2	2.9	3.5
精神	-	-	-	-
感染症	4	71.6	109.7	77.1
計	334	57.8	58.7	63.3
平均在院日数（一般病床のみ）		11.9	14.3	14.2

設立団体の状況		
人口 (人)		1,210,534
決算規模 (千円)		756,669,461
標準財政規模 (千円)		390,645,538
財政力指数		0.35095
経常収支比率 (%)		92.6
健全化判断比率	実質赤字比率 (%)	-
	連結実質赤字比率 (%)	-
	実質公債費比率 (%)	12.7
	将来負担比率 (%)	201.1

損益計算書　(千円・%)

区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	6,687,729			
１ 経常収益	6,687,729			
（1）医業収益	5,559,547			
（うち修正医業収益）	5,314,733			
① 入院収益	3,482,715			
② 外来収益	1,640,246			
診療収入計	5,122,961			
③ 繰延運営権対価収益	-			
④ 運営権者更新投資収益	-			
⑤ その他医業収益	436,586			
（うち他会計負担金）	244,814			
（2）医業外収益	1,128,182			
（うち国・都道府県補助金）	127,911			
（うち他会計補助・負担金）	704,869			
（うち長期前受金戻入）	257,716			
（うち資本費繰入収益）	-			
（3）特別利益	-			
（うち他会計繰入金）	-			
総費用	7,030,141			
２ 経常費用	7,030,141			
（1）医業費用	6,712,867			
① 職員給与費	3,722,241	67.0	58.7	59.2
② 材料費	1,310,646	23.6	26.9	26.1
（うち薬品費）	572,858	10.3	14.8	14.6
（うち薬品費以外の医薬材料費）	682,286	12.3	11.7	11.1
③ 減価償却費	535,357	9.6	8.5	8.5
④ 経費	1,085,463	19.5	21.5	21.3
（うち委託料）	452,012	8.1	11.5	11.7
⑤ 研究研修費	25,452			
⑥ 資産減耗費	33,708			
（2）医業外費用	317,274			
（うち支払利息）	5,866	0.1	0.9	1.0
（3）特別損失	-			
損益 経常損益	-342,412			
損益 純損益	-342,412			
累積欠損金	-			
経常収支比率	95.1		96.5	95.9
医業収支比率	82.8		86.0	86.4
修正医業収支比率	79.2		83.2	83.7
他会計繰入金対経常収益比率	14.2		11.5	9.8
他会計繰入金対医業収益比率	17.1		13.7	11.5
他会計繰入金対総収益比率	14.2		11.5	9.8
実質収益対経常費用比率	81.6		85.4	86.4

備考：
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表　(千円)

区分	決算額
資産合計	207,284,511
１ 固定資産	183,246,810
（1）有形固定資産	173,944,666
（2）無形固定資産	2,433,875
（3）投資その他の資産	6,868,269
２ 流動資産	24,037,701
（1）現金及び預金	3,419,730
（2）未収金及び未収収益	19,942,624
（3）貸倒引当金（△）	35,904
（4）貯蔵品	662,600
３ 繰延資産	-
負債合計	131,396,482
１ 固定負債	98,196,618
（1）建設改良費等の財源に充てるための企業債	58,676,913
（2）その他の企業債	2,091,573
（3）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
（4）その他の長期借入金	8,000,000
（5）引当金	29,428,132
（6）リース債務	-
２ 流動負債	23,332,579
（1）建設改良費等の財源に充てるための企業債	10,686,459
（2）その他の企業債	338,207
（3）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
（4）その他の長期借入金	-
（5）引当金	3,875,464
（6）リース債務	-
（7）一時借入金	-
（8）未払金及び未払費用	7,844,266
（9）前受金及び前受収益	-
３ 繰延収益	9,867,285
（1）長期前受金	34,161,454
（2）長期前受金収益化累計額（△）	24,294,169
（3）繰延運営権対価	-
（4）繰延運営権対価収益化累計額（△）	-
（5）運営権者更新投資	-
（6）運営権者更新投資収益化累計額（△）	-
資本合計	75,888,029
１ 資本金	27,336,629
２ 剰余金	48,551,400
（1）資本剰余金	91,373,303
（2）利益剰余金	-42,821,903
負債・資本合計	207,284,511
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額（△）	-
資本不足額（繰延収益控除後）（△）	-

備考
当該貸借対照表の数値は、事業単位（当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある）の決算額である。

他会計からの繰入状況　(千円)

区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	735,232	949,683
資本勘定繰入	252,317	382,213
計	987,549	1,331,896

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移

年度	不良債務額 (千円)	不良債務比率 (%)
令和５年度	-	-
令和４年度	-	-
令和３年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率 (%)	45.4
健全化法上の資金不足額 (千円)	-
健全化法上の資金不足比率 (%)	-
地財法上の資金不足額 (千円)	-
地財法上の資金不足比率 (%)	-

備考：

・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうちの他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。

・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。

・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補塡債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況（令和５年度）

都道府県名	岩手県
市町村・組合名	
病院名	胆沢病院

※特殊診療機能欄　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※指定病院の状況欄　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透　訓　ガ
病院区分	一般病院	不採算地区病院	
建物面積	24,425 ㎡	不採算地区中核病院	第２種該当
診療科数	23	指定病院の状況	救臨が　災地　輪
許可公営企業		看護配置	７：１
ＤＰＣ対象病院	対象	経営形態	直営
		類似区分	300床以上～400床未満

病床利用率・平均在院日数				(%・日)
区分	病床数	令和５年度	令和４年度	令和３年度
一般	337	80.1	80.3	77.8
療養	-	-	-	-
結核	9	27.9	27.6	9.4
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	346	78.7	78.9	76.0
平均在院日数（一般病床のみ）		9.9	10.4	10.1

設立団体の状況		
人口 (人)		1,210,534
決算規模 (千円)		756,669,461
標準財政規模 (千円)		390,645,538
財政力指数		0.35095
経常収支比率 (%)		92.6
健全化判断比率	実質赤字比率 (%)	-
	連結実質赤字比率 (%)	-
	実質公債費比率 (%)	12.7
	将来負担比率 (%)	201.1

損益計算書				(千円・%)
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	12,004,598			
１ 経常収益	12,004,598			
（1）医業収益	10,635,062			
（うち修正医業収益）	10,298,569			
① 入院収益	6,940,076			
② 外来収益	3,226,130			
診療収入計	10,166,206			
③ 繰延運営権対価収益	-			
④ 運営権者更新投資収益	-			
⑤ その他医業収益	468,856			
（うち他会計負担金）	336,493			
（2）医業外収益	1,369,536			
（うち国・都道府県補助金）	101,085			
（うち他会計補助・負担金）	903,324			
（うち長期前受金戻入）	314,606			
（うち資本費繰入収益）	-			
（3）特別利益	-			
（うち他会計繰入金）	-			
総費用	11,533,723			
２ 経常費用	11,533,723			
（1）医業費用	10,918,562			
① 職員給与費	5,634,570	53.0	58.7	59.2
② 材料費	3,265,514	30.7	26.9	26.1
（うち薬品費）	1,602,763	15.1	14.8	14.6
（うち薬品費以外の医薬材料費）	1,594,284	15.0	11.7	11.1
③ 減価償却費	603,332	5.7	8.5	8.5
④ 経費	1,356,273	12.8	21.5	21.3
（うち委託料）	502,594	4.7	11.5	11.7
⑤ 研究研修費	45,789			
⑥ 資産減耗費	13,084			
（2）医業外費用	615,161			
（うち支払利息）	73,679	0.7	0.9	1.0
（3）特別損失	-			
損益 経常損益	470,875			
損益 純損益	470,875			
累積欠損金	-			
経常収支比率	104.1		96.5	95.9
医業収支比率	97.4		86.0	86.4
修正医業収支比率	94.3		83.2	83.7
他会計繰入金対経常収益比率	10.3		11.5	9.8
他会計繰入金対医業収益比率	11.7		13.7	11.5
他会計繰入金対総収益比率	10.3		11.5	9.8
実質収益対経常費用比率	93.3		85.4	86.4

備考：
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表	(千円)
区分	決算額
資産合計	207,284,511
１ 固定資産	183,246,810
（1）有形固定資産	173,944,666
（2）無形固定資産	2,433,875
（3）投資その他の資産	6,868,269
２ 流動資産	24,037,701
（1）現金及び預金	3,419,730
（2）未収金及び未収収益	19,942,624
（3）貸倒引当金（△）	35,904
（4）貯蔵品	662,600
３ 繰延資産	-
負債合計	131,396,482
１ 固定負債	98,196,618
（1）建設改良費等の財源に充てるための企業債	58,676,913
（2）その他の企業債	2,091,573
（3）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
（4）その他の長期借入金	8,000,000
（5）引当金	29,428,132
（6）リース債務	-
２ 流動負債	23,332,579
（1）建設改良費等の財源に充てるための企業債	10,686,459
（2）その他の企業債	338,207
（3）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
（4）その他の長期借入金	-
（5）引当金	3,875,464
（6）リース債務	-
（7）一時借入金	-
（8）未払金及び未払費用	7,844,266
（9）前受金及び前受収益	-
３ 繰延収益	9,867,285
（1）長期前受金	34,161,454
（2）長期前受金収益化累計額（△）	24,294,169
（3）繰延運営権対価	-
（4）繰延運営権対価収益化累計額（△）	-
（5）運営権者更新投資	-
（6）運営権者更新投資収益化累計額（△）	-
資本合計	75,888,029
１ 資本金	27,336,629
２ 剰余金	48,551,400
（1）資本剰余金	91,373,303
（2）利益剰余金	-42,821,903
負債・資本合計	207,284,511
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額（△）	-
資本不足額（繰延収益控除後）（△）	-

備考
当該貸借対照表の数値は、事業単位（当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある）の決算額である。

他会計からの繰入状況 (千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	918,750	1,239,817
資本勘定繰入	697,623	985,630
計	1,616,373	2,225,447

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額 (千円)	不良債務比率 (%)
令和５年度	-	-
令和４年度	-	-
令和３年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率 (%)	45.4
健全化法上の資金不足額 (千円)	-
健全化法上の資金不足比率 (%)	-
地財法上の資金不足額 (千円)	-
地財法上の資金不足比率 (%)	-

備考：

・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうちの他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。

・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
うちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から
他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
占める割合をいう。

・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補塡債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況（令和５年度）

都道府県名	岩手県

市町村・組合名	
病院名	磐井病院

※特殊診療機能欄　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※指定病院の状況欄　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透　訓　ガ
病院区分	一般病院	不採算地区病院	
建物面積	23,701 ㎡	不採算地区中核病院	第２種該当
診療科数	24	指定病院の状況	救臨が　災地　輪
許可公営企業		看護配置	７：１
ＤＰＣ対象病院	対象	経営形態	直営
		類似区分	300床以上～400床未満

病床利用率・平均在院日数　（%・日）

区分	病床数	令和５年度	令和４年度	令和３年度
一般	305	73.5	71.0	71.7
療養	-	-	-	-
結核	10	37.5	41.3	24.8
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	315	72.4	70.0	70.2
平均在院日数（一般病床のみ）		9.2	9.0	9.0

設立団体の状況

人口（人）		1,210,534
決算規模（千円）		756,669,461
標準財政規模（千円）		390,645,538
財政力指数		0.35095
経常収支比率（%）		92.6
健全化判断比率	実質赤字比率（%）	-
	連結実質赤字比率（%）	-
	実質公債費比率（%）	12.7
	将来負担比率（%）	201.1

損益計算書　（千円・%）

区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	10,612,209			
１ 経常収益	10,612,209			
（１）医業収益	8,936,998			
（うち修正医業収益）	8,612,570			
① 入院収益	5,550,059			
② 外来収益	2,668,859			
診療収入計	8,218,918			
③ 繰延運営権対価収益	-			
④ 運営権者更新投資収益	-			
⑤ その他医業収益	718,080			
（うち他会計負担金）	324,428			
（２）医業外収益	1,675,211			
（うち国・都道府県補助金）	229,189			
（うち他会計補助・負担金）	1,075,698			
（うち長期前受金戻入）	324,566			
（うち資本費繰入収益）	-			
（３）特別利益	-			
（うち他会計繰入金）	-			
総費用	10,352,536			
２ 経常費用	10,352,536			
（１）医業費用	9,746,751			
① 職員給与費	5,431,430	60.8	58.7	59.2
② 材料費	2,424,929	27.1	26.9	26.1
（うち薬品費）	1,353,814	15.1	14.8	14.6
（うち薬品費以外の医薬材料費）	1,018,472	11.4	11.7	11.1
③ 減価償却費	662,329	7.4	8.5	8.5
④ 経費	1,167,665	13.1	21.5	21.3
（うち委託料）	462,626	5.2	11.5	11.7
⑤ 研究研修費	46,358			
⑥ 資産減耗費	14,040			
（２）医業外費用	605,785			
（うち支払利息）	140,292	1.6	0.9	1.0
（３）特別損失	-			
損益 経常損益	259,673			
損益 純損益	259,673			
累積欠損金	-			
経常収支比率	102.5		96.5	95.9
医業収支比率	91.7		86.0	86.4
修正医業収支比率	88.4		83.2	83.7
他会計繰入金対経常収益比率	13.2		11.5	9.8
他会計繰入金対医業収益比率	15.7		13.7	11.5
他会計繰入金対総収益比率	13.2		11.5	9.8
実質収益対経常費用比率	89.0		85.4	86.4

備考：
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表　（千円）

区分	決算額
資産合計	207,284,511
１ 固定資産	183,246,810
（１）有形固定資産	173,944,666
（２）無形固定資産	2,433,875
（３）投資その他の資産	6,868,269
２ 流動資産	24,037,701
（１）現金及び預金	3,419,730
（２）未収金及び未収収益	19,942,624
（３）貸倒引当金（△）	35,904
（４）貯蔵品	662,600
３ 繰延資産	-
負債合計	131,396,482
１ 固定負債	98,196,618
（１）建設改良費等の財源に充てるための企業債	58,676,913
（２）その他の企業債	2,091,573
（３）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
（４）その他の長期借入金	8,000,000
（５）引当金	29,428,132
（６）リース債務	-
２ 流動負債	23,332,579
（１）建設改良費等の財源に充てるための企業債	10,686,459
（２）その他の企業債	338,207
（３）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
（４）その他の長期借入金	-
（５）引当金	3,875,464
（６）リース債務	-
（７）一時借入金	-
（８）未払金及び未払費用	7,844,266
（９）前受金及び前受収益	-
３ 繰延収益	9,867,285
（１）長期前受金	34,161,454
（２）長期前受金収益化累計額（△）	24,294,169
（３）繰延運営権対価	-
（４）繰延運営権対価収益化累計額（△）	-
（５）運営権者更新投資	-
（６）運営権者更新投資収益化累計額（△）	-
資本合計	75,888,029
１ 資本金	27,336,629
２ 剰余金	48,551,400
（１）資本剰余金	91,373,303
（２）利益剰余金	-42,821,903
負債・資本合計	207,284,511
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額（△）	-
資本不足額（繰延収益控除後）（△）	-

備考
当該貸借対照表の数値は、事業単位（当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある）の決算額である。

他会計からの繰入状況　（千円）

区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,011,455	1,400,126
資本勘定繰入	657,686	931,473
計	1,669,141	2,331,599

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移

年度	不良債務額（千円）	不良債務比率（%）
令和５年度	-	-
令和４年度	-	-
令和３年度	-	-

資金不足等の状況

累積欠損金比率（%）	45.4
健全化法上の資金不足額（千円）	-
健全化法上の資金不足比率（%）	-
地財法上の資金不足額（千円）	-
地財法上の資金不足比率（%）	-

備考：

・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうちの他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。

・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
うちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から
他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
占める割合をいう。

・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補塡債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況（令和５年度）

都道府県名	岩手県

市町村・組合名	
病院名	遠野病院

※特殊診療機能欄　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※指定病院の状況欄　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透　訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第１種該当
建物面積	11,763 ㎡	不採算地区中核病院	
診療科数	14	指定病院の状況	救　感　輪
許可公営企業		看護配置	１０：１
ＤＰＣ対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	100床以上～200床未満

病床利用率・平均在院日数				(%・日)
区分	病床数	令和５年度	令和４年度	令和３年度
一般	120	56.0	57.3	58.6
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	2	-	10.1	33.6
計	122	55.1	56.6	58.2
平均在院日数（一般病床のみ）		18.6	18.8	17.0

設立団体の状況		
人口 (人)		1,210,534
決算規模 (千円)		756,669,461
標準財政規模 (千円)		390,645,538
財政力指数		0.35095
経常収支比率 (%)		92.6
健全化判断比率	実質赤字比率 (%)	-
	連結実質赤字比率 (%)	-
	実質公債費比率 (%)	12.7
	将来負担比率 (%)	201.1

損益計算書　(千円・%)

区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,301,718			
１ 経常収益	2,301,718			
（1）医業収益	1,575,736			
（うち修正医業収益）	1,521,739			
① 入院収益	825,592			
② 外来収益	634,960			
診療収入計	1,460,552			
③ 繰延運営権対価収益	-			
④ 運営権者更新投資収益	-			
⑤ その他医業収益	115,184			
（うち他会計負担金）	53,997			
（2）医業外収益	725,982			
（うち国・都道府県補助金）	15,369			
（うち他会計補助・負担金）	612,832			
（うち長期前受金戻入）	91,252			
（うち資本費繰入収益）	-			
（3）特別利益	-			
（うち他会計繰入金）	-			
総費用	2,497,707			
２ 経常費用	2,497,707			
（1）医業費用	2,397,405			
① 職員給与費	1,518,282	96.4	58.7	67.7
② 材料費	227,842	14.5	26.9	18.3
（うち薬品費）	101,723	6.5	14.8	8.6
（うち薬品費以外の医薬材料費）	126,057	8.0	11.7	9.1
③ 減価償却費	207,720	13.2	8.5	10.3
④ 経費	436,181	27.7	21.5	29.4
（うち委託料）	209,952	13.3	11.5	13.6
⑤ 研究研修費	6,354			
⑥ 資産減耗費	1,026			
（2）医業外費用	100,302			
（うち支払利息）	6,457	0.4	0.9	1.1
（3）特別損失	-			
損益 経常損益	-195,989			
損益 純損益	-195,989			
累積欠損金	6,997,231			
経常収支比率	92.2		96.5	95.4
医業収支比率	65.7		86.0	79.1
修正医業収支比率	63.5		83.2	74.9
他会計繰入金対経常収益比率	29.0		11.5	17.0
他会計繰入金対医業収益比率	42.3		13.7	21.8
他会計繰入金対総収益比率	29.0		11.5	17.1
実質収益対経常費用比率	65.5		85.4	79.2

備考：
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表　(千円)

区分	決算額
資産合計	207,284,511
１ 固定資産	183,246,810
（1）有形固定資産	173,944,666
（2）無形固定資産	2,433,875
（3）投資その他の資産	6,868,269
２ 流動資産	24,037,701
（1）現金及び預金	3,419,730
（2）未収金及び未収収益	19,942,624
（3）貸倒引当金（△）	35,904
（4）貯蔵品	662,600
３ 繰延資産	-
負債合計	131,396,482
１ 固定負債	98,196,618
（1）建設改良費等の財源に充てるための企業債	58,676,913
（2）その他の企業債	2,091,573
（3）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
（4）その他の長期借入金	8,000,000
（5）引当金	29,428,132
（6）リース債務	-
２ 流動負債	23,332,579
（1）建設改良費等の財源に充てるための企業債	10,686,459
（2）その他の企業債	338,207
（3）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
（4）その他の長期借入金	-
（5）引当金	3,875,464
（6）リース債務	-
（7）一時借入金	-
（8）未払金及び未払費用	7,844,266
（9）前受金及び前受収益	-
３ 繰延収益	9,867,285
（1）長期前受金	34,161,454
（2）長期前受金収益化累計額（△）	24,294,169
（3）繰延運営権対価	-
（4）繰延運営権対価収益化累計額（△）	-
（5）運営権者更新投資	-
（6）運営権者更新投資収益化累計額（△）	-
資本合計	75,888,029
１ 資本金	27,336,629
２ 剰余金	48,551,400
（1）資本剰余金	91,373,303
（2）利益剰余金	-42,821,903
負債・資本合計	207,284,511
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額（△）	-
資本不足額（繰延収益控除後）（△）	-

備考
当該貸借対照表の数値は、事業単位（当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある）の決算額である。

他会計からの繰入状況　(千円)

区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	608,718	666,829
資本勘定繰入	118,553	175,621
計	727,271	842,450

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移

年度	不良債務額 (千円)	不良債務比率 (%)
令和５年度	-	-
令和４年度	-	-
令和３年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率 (%)	45.4
健全化法上の資金不足額 (千円)	-
健全化法上の資金不足比率 (%)	-
地財法上の資金不足額 (千円)	-
地財法上の資金不足比率 (%)	-

備考：

・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうちの他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。

・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。

・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補塡債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況（令和５年度）

都道府県名	岩手県

市町村・組合名	
病院名	高田病院

※特殊診療機能欄　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※指定病院の状況欄　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第１種該当
建物面積	4,265 ㎡	不採算地区中核病院	
診療科数	8	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	１０：１
ＤＰＣ対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	50床以上～100床未満

病床利用率・平均在院日数				(%・日)
区分	病床数	令和５年度	令和４年度	令和３年度
一般	60	49.5	37.2	27.9
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	60	49.5	37.2	27.9
平均在院日数（一般病床のみ）		24.7	23.2	15.9

設立団体の状況		
人口 (人)		1,210,534
決算規模 (千円)		756,669,461
標準財政規模 (千円)		390,645,538
財政力指数		0.35095
経常収支比率 (%)		92.6
健全化判断比率	実質赤字比率 (%)	-
	連結実質赤字比率 (%)	-
	実質公債費比率 (%)	12.7
	将来負担比率 (%)	201.1

損益計算書　(千円・%)

区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,159,912			
１ 経常収益	1,159,912			
（1）医業収益	659,207			
（うち修正医業収益）	644,908			
① 入院収益	349,999			
② 外来収益	250,075			
診療収入計	600,074			
③ 繰延運営権対価収益	-			
④ 運営権者更新投資収益	-			
⑤ その他医業収益	59,133			
（うち他会計負担金）	14,299			
（2）医業外収益	500,705			
（うち国・都道府県補助金）	78,427			
（うち他会計補助・負担金）	252,714			
（うち長期前受金戻入）	153,516			
（うち資本費繰入収益）	-			
（3）特別利益	-			
（うち他会計繰入金）	-			
総費用	1,161,163			
２ 経常費用	1,161,163			
（1）医業費用	1,121,062			
① 職員給与費	718,186	108.9	58.7	78.7
② 材料費	47,008	7.1	26.9	14.5
（うち薬品費）	11,434	1.7	14.8	7.7
（うち薬品費以外の医薬材料費）	35,558	5.4	11.7	6.1
③ 減価償却費	157,387	23.9	8.5	11.8
④ 経費	192,448	29.2	21.5	32.3
（うち委託料）	93,847	14.2	11.5	15.3
⑤ 研究研修費	5,688			
⑥ 資産減耗費	345			
（2）医業外費用	40,101			
（うち支払利息）	5,105	0.8	0.9	1.1
（3）特別損失	-			
損益 経常損益	-1,251			
損益 純損益	-1,251			
累積欠損金	5,858,986			
経常収支比率	99.9		96.5	96.4
医業収支比率	58.8		86.0	72.4
修正医業収支比率	57.5		83.2	68.2
他会計繰入金対経常収益比率	23.0		11.5	24.2
他会計繰入金対医業収益比率	40.5		13.7	34.4
他会計繰入金対総収益比率	23.0		11.5	24.2
実質収益対経常費用比率	76.9		85.4	73.0

備考：
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表　(千円)

区分	決算額
資産合計	207,284,511
１ 固定資産	183,246,810
（1）有形固定資産	173,944,666
（2）無形固定資産	2,433,875
（3）投資その他の資産	6,868,269
２ 流動資産	24,037,701
（1）現金及び預金	3,419,730
（2）未収金及び未収収益	19,942,624
（3）貸倒引当金（△）	35,904
（4）貯蔵品	662,600
３ 繰延資産	-
負債合計	131,396,482
１ 固定負債	98,196,618
（1）建設改良費等の財源に充てるための企業債	58,676,913
（2）その他の企業債	2,091,573
（3）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
（4）その他の長期借入金	8,000,000
（5）引当金	29,428,132
（6）リース債務	-
２ 流動負債	23,332,579
（1）建設改良費等の財源に充てるための企業債	10,686,459
（2）その他の企業債	338,207
（3）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
（4）その他の長期借入金	-
（5）引当金	3,875,464
（6）リース債務	-
（7）一時借入金	-
（8）未払金及び未払費用	7,844,266
（9）前受金及び前受収益	-
３ 繰延収益	9,867,285
（1）長期前受金	34,161,454
（2）長期前受金収益化累計額（△）	24,294,169
（3）繰延運営権対価	-
（4）繰延運営権対価収益化累計額（△）	-
（5）運営権者更新投資	-
（6）運営権者更新投資収益化累計額（△）	-
資本合計	75,888,029
１ 資本金	27,336,629
２ 剰余金	48,551,400
（1）資本剰余金	91,373,303
（2）利益剰余金	-42,821,903
負債・資本合計	207,284,511
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額（△）	-
資本不足額（繰延収益控除後）（△）	-

備考
当該貸借対照表の数値は、事業単位（当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある）の決算額である。

他会計からの繰入状況　(千円)

区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	250,426	267,013
資本勘定繰入	26,713	38,951
計	277,139	305,964

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移

年度	不良債務額 (千円)	不良債務比率 (%)
令和５年度	-	-
令和４年度	-	-
令和３年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率 (%)	45.4
健全化法上の資金不足額 (千円)	-
健全化法上の資金不足比率 (%)	-
地財法上の資金不足額 (千円)	-
地財法上の資金不足比率 (%)	-

備考：

・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうちの他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。

・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。

・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補塡債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況（令和５年度）

都道府県名	岩手県

市町村・組合名	
病院名	久慈病院

※特殊診療機能欄　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※指定病院の状況欄　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透Ｉ　訓ガ
病院区分	一般病院	不採算地区病院	
建物面積	24,563 ㎡	不採算地区中核病院	第２種該当
診療科数	20	指定病院の状況	救臨が感へ災
許可公営企業		看護配置	１０：１
ＤＰＣ対象病院	対象	経営形態	直営
		類似区分	300床以上～400床未満

病床利用率・平均在院日数　(%・日)

区分	病床数	令和５年度	令和４年度	令和３年度
一般	287	55.4	57.8	60.9
療養	43	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	48.6	117.3	46.2
計	334	48.2	51.1	52.9
平均在院日数（一般病床のみ）		13.5	13.5	13.6

設立団体の状況		
人口 (人)		1,210,534
決算規模 (千円)		756,669,461
標準財政規模 (千円)		390,645,538
財政力指数		0.35095
経常収支比率 (%)		92.6
健全化判断比率	実質赤字比率 (%)	-
	連結実質赤字比率 (%)	-
	実質公債費比率 (%)	12.7
	将来負担比率 (%)	201.1

損益計算書　(千円・%)

区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	6,979,409			
１ 経常収益	6,979,409			
（１）医業収益	5,695,512			
（うち修正医業収益）	5,409,372			
① 入院収益	3,052,640			
② 外来収益	2,203,024			
診療収入計	5,255,664			
③ 繰延運営権対価収益	-			
④ 運営権者更新投資収益	-			
⑤ その他医業収益	439,848			
（うち他会計負担金）	286,140			
（２）医業外収益	1,283,897			
（うち国・都道府県補助金）	155,907			
（うち他会計補助・負担金）	780,050			
（うち長期前受金戻入）	309,141			
（うち資本費繰入収益）	-			
（３）特別利益	-			
（うち他会計繰入金）	-			
総費用	7,446,378			
２ 経常費用	7,446,378			
（１）医業費用	7,056,941			
① 職員給与費	3,887,378	68.3	58.7	59.2
② 材料費	1,369,119	24.0	26.9	26.1
（うち薬品費）	755,110	13.3	14.8	14.6
（うち薬品費以外の医薬材料費）	572,168	10.0	11.7	11.1
③ 減価償却費	585,415	10.3	8.5	8.5
④ 経費	1,174,677	20.6	21.5	21.3
（うち委託料）	398,712	7.0	11.5	11.7
⑤ 研究研修費	28,538			
⑥ 資産減耗費	11,814			
（２）医業外費用	389,437			
（うち支払利息）	65,526	1.2	0.9	1.0
（３）特別損失	-			
損益 経常損益	-466,969			
損益 純損益	-466,969			
累積欠損金	-			
経常収支比率	93.7		96.5	95.9
医業収支比率	80.7		86.0	86.4
修正医業収支比率	76.7		83.2	83.7
他会計繰入金対経常収益比率	15.3		11.5	9.8
他会計繰入金対医業収益比率	18.7		13.7	11.5
他会計繰入金対総収益比率	15.3		11.5	9.8
実質収益対経常費用比率	79.4		85.4	86.4

備考：
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表　(千円)

区分	決算額
資産合計	207,284,511
１ 固定資産	183,246,810
（１）有形固定資産	173,944,666
（２）無形固定資産	2,433,875
（３）投資その他の資産	6,868,269
２ 流動資産	24,037,701
（１）現金及び預金	3,419,730
（２）未収金及び未収収益	19,942,624
（３）貸倒引当金（△）	35,904
（４）貯蔵品	662,600
３ 繰延資産	-
負債合計	131,396,482
１ 固定負債	98,196,618
（１）建設改良費等の財源に充てるための企業債	58,676,913
（２）その他の企業債	2,091,573
（３）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
（４）その他の長期借入金	8,000,000
（５）引当金	29,428,132
（６）リース債務	-
２ 流動負債	23,332,579
（１）建設改良費等の財源に充てるための企業債	10,686,459
（２）その他の企業債	338,207
（３）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
（４）その他の長期借入金	-
（５）引当金	3,875,464
（６）リース債務	-
（７）一時借入金	-
（８）未払金及び未払費用	7,844,266
（９）前受金及び前受収益	-
３ 繰延収益	9,867,285
（１）長期前受金	34,161,454
（２）長期前受金収益化累計額（△）	24,294,169
（３）繰延運営権対価	-
（４）繰延運営権対価収益化累計額（△）	-
（５）運営権者更新投資	-
（６）運営権者更新投資収益化累計額（△）	-
資本合計	75,888,029
１ 資本金	27,336,629
２ 剰余金	48,551,400
（１）資本剰余金	91,373,303
（２）利益剰余金	-42,821,903
負債・資本合計	207,284,511
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額（△）	-
資本不足額（繰延収益控除後）（△）	-

備考
当該貸借対照表の数値は、事業単位（当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある）の決算額である。

他会計からの繰入状況　(千円)

区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	846,980	1,066,190
資本勘定繰入	588,663	1,020,449
計	1,435,643	2,086,639

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移

年度	不良債務額 (千円)	不良債務比率 (%)
令和５年度	-	-
令和４年度	-	-
令和３年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率 (%)	45.4
健全化法上の資金不足額 (千円)	-
健全化法上の資金不足比率 (%)	-
地財法上の資金不足額 (千円)	-
地財法上の資金不足比率 (%)	-

備考：

・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうちの他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。

・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。

・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補塡債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況（令和５年度）

都道府県名	岩手県

市町村・組合名	
病院名	江刺病院

※特殊診療機能欄　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※指定病院の状況欄　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透　訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第２種該当
建物面積	10,529 ㎡	不採算地区中核病院	
診療科数	13	指定病院の状況	救　輪
許可公営企業		看護配置	１０：１
ＤＰＣ対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	100床以上～200床未満

病床利用率・平均在院日数				(%・日)
区分	病床数	令和５年度	令和４年度	令和３年度
一般	118	41.5	48.2	43.5
療養	-	-	-	-
結核	15	11.7	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	133	38.1	42.8	38.6
平均在院日数（一般病床のみ）		20.6	17.4	17.2

設立団体の状況		
人口 (人)		1,210,534
決算規模 (千円)		756,669,461
標準財政規模 (千円)		390,645,538
財政力指数		0.35095
経常収支比率 (%)		92.6
健全化判断比率	実質赤字比率 (%)	-
	連結実質赤字比率 (%)	-
	実質公債費比率 (%)	12.7
	将来負担比率 (%)	201.1

損益計算書　(千円・%)

区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,794,020			
１ 経常収益	1,794,020			
（１）医業収益	1,088,751			
（うち修正医業収益）	1,042,009			
① 入院収益	622,733			
② 外来収益	368,247			
診療収入計	990,980			
③ 繰延運営権対価収益	-			
④ 運営権者更新投資収益	-			
⑤ その他医業収益	97,771			
（うち他会計負担金）	46,742			
（２）医業外収益	705,269			
（うち国・都道府県補助金）	165,769			
（うち他会計補助・負担金）	425,760			
（うち長期前受金戻入）	86,192			
（うち資本費繰入収益）	-			
（３）特別利益	-			
（うち他会計繰入金）	-			
総費用	2,132,067			
２ 経常費用	2,132,067			
（１）医業費用	2,040,294			
① 職員給与費	1,313,428	120.6	58.7	67.7
② 材料費	142,196	13.1	26.9	18.3
（うち薬品費）	70,903	6.5	14.8	8.6
（うち薬品費以外の医薬材料費）	71,283	6.5	11.7	9.1
③ 減価償却費	186,667	17.1	8.5	10.3
④ 経費	385,845	35.4	21.5	29.4
（うち委託料）	179,662	16.5	11.5	13.6
⑤ 研究研修費	9,483			
⑥ 資産減耗費	2,675			
（２）医業外費用	91,773			
（うち支払利息）	4,747	0.4	0.9	1.1
（３）特別損失	-			
損益 経常損益	-338,047			
損益 純損益	-338,047			
累積欠損金	5,556,517			
経常収支比率	84.1		96.5	95.4
医業収支比率	53.4		86.0	79.1
修正医業収支比率	51.1		83.2	74.9
他会計繰入金対経常収益比率	26.3		11.5	17.0
他会計繰入金対医業収益比率	43.4		13.7	21.8
他会計繰入金対総収益比率	26.3		11.5	17.1
実質収益対経常費用比率	62.0		85.4	79.2

備考：
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表　(千円)

区分	決算額
資産合計	207,284,511
１ 固定資産	183,246,810
（１）有形固定資産	173,944,666
（２）無形固定資産	2,433,875
（３）投資その他の資産	6,868,269
２ 流動資産	24,037,701
（１）現金及び預金	3,419,730
（２）未収金及び未収収益	19,942,624
（３）貸倒引当金（△）	35,904
（４）貯蔵品	662,600
３ 繰延資産	-
負債合計	131,396,482
１ 固定負債	98,196,618
（１）建設改良費等の財源に充てるための企業債	58,676,913
（２）その他の企業債	2,091,573
（３）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
（４）その他の長期借入金	8,000,000
（５）引当金	29,428,132
（６）リース債務	-
２ 流動負債	23,332,579
（１）建設改良費等の財源に充てるための企業債	10,686,459
（２）その他の企業債	338,207
（３）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
（４）その他の長期借入金	-
（５）引当金	3,875,464
（６）リース債務	-
（７）一時借入金	-
（８）未払金及び未払費用	7,844,266
（９）前受金及び前受収益	-
３ 繰延収益	9,867,285
（１）長期前受金	34,161,454
（２）長期前受金収益化累計額（△）	24,294,169
（３）繰延運営権対価	-
（４）繰延運営権対価収益化累計額（△）	-
（５）運営権者更新投資	-
（６）運営権者更新投資収益化累計額（△）	-
資本合計	75,888,029
１ 資本金	27,336,629
２ 剰余金	48,551,400
（１）資本剰余金	91,373,303
（２）利益剰余金	-42,821,903
負債・資本合計	207,284,511
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額（△）	-
資本不足額（繰延収益控除後）（△）	-

備考
当該貸借対照表の数値は、事業単位（当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある）の決算額である。

他会計からの繰入状況　(千円)

区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	414,832	472,502
資本勘定繰入	93,301	134,880
計	508,133	607,382

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移

年度	不良債務額 (千円)	不良債務比率 (%)
令和５年度	-	-
令和４年度	-	-
令和３年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率 (%)	45.4
健全化法上の資金不足額 (千円)	-
健全化法上の資金不足比率 (%)	-
地財法上の資金不足額 (千円)	-
地財法上の資金不足比率 (%)	-

備考：

・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうちの他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。

・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
うちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から
他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
占める割合をいう。

・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補塡債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況（令和５年度）

都道府県名	岩手県

市町村・組合名	
病院名	千厩病院

※特殊診療機能欄　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※指定病院の状況欄　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透　訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第２種該当
建物面積	12,740 ㎡	不採算地区中核病院	
診療科数	15	指定病院の状況	救　感　輪
許可公営企業		看護配置	１０：１
ＤＰＣ対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	100床以上～200床未満

病床利用率・平均在院日数				(%・日)
区分	病床数	令和５年度	令和４年度	令和３年度
一般	148	51.1	44.2	41.7
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	-	-	4.0
計	152	49.8	43.0	40.7
平均在院日数（一般病床のみ）		16.7	13.4	12.5

設立団体の状況		
人口 (人)		1,210,534
決算規模 (千円)		756,669,461
標準財政規模 (千円)		390,645,538
財政力指数		0.35095
経常収支比率 (%)		92.6
健全化判断比率	実質赤字比率 (%)	-
	連結実質赤字比率 (%)	-
	実質公債費比率 (%)	12.7
	将来負担比率 (%)	201.1

損益計算書　(千円・%)

区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,753,486			
１ 経常収益	2,753,486			
（１）医業収益	1,957,364			
（うち修正医業収益）	1,872,778			
① 入院収益	1,147,833			
② 外来収益	685,869			
診療収入計	1,833,702			
③ 繰延運営権対価収益	-			
④ 運営権者更新投資収益	-			
⑤ その他医業収益	123,662			
（うち他会計負担金）	84,586			
（２）医業外収益	796,122			
（うち国・都道府県補助金）	184,650			
（うち他会計補助・負担金）	519,181			
（うち長期前受金戻入）	84,941			
（うち資本費繰入収益）	-			
（３）特別利益	-			
（うち他会計繰入金）	-			
総費用	2,871,045			
２ 経常費用	2,871,045			
（１）医業費用	2,726,382			
① 職員給与費	1,694,829	86.6	58.7	67.7
② 材料費	315,277	16.1	26.9	18.3
（うち薬品費）	151,275	7.7	14.8	8.6
（うち薬品費以外の医薬材料費）	163,963	8.4	11.7	9.1
③ 減価償却費	183,312	9.4	8.5	10.3
④ 経費	500,785	25.6	21.5	29.4
（うち委託料）	197,561	10.1	11.5	13.6
⑤ 研究研修費	10,601			
⑥ 資産減耗費	21,578			
（２）医業外費用	144,663			
（うち支払利息）	32,181	1.6	0.9	1.1
（３）特別損失	-			
損益 経常損益	-117,559			
損益 純損益	-117,559			
累積欠損金	3,413,157			
経常収支比率	95.9		96.5	95.4
医業収支比率	71.8		86.0	79.1
修正医業収支比率	68.7		83.2	74.9
他会計繰入金対経常収益比率	21.9		11.5	17.0
他会計繰入金対医業収益比率	30.8		13.7	21.8
他会計繰入金対総収益比率	21.9		11.5	17.1
実質収益対経常費用比率	74.9		85.4	79.2

備考：
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表　(千円)

区分	決算額
資産合計	207,284,511
１ 固定資産	183,246,810
（１）有形固定資産	173,944,666
（２）無形固定資産	2,433,875
（３）投資その他の資産	6,868,269
２ 流動資産	24,037,701
（１）現金及び預金	3,419,730
（２）未収金及び未収収益	19,942,624
（３）貸倒引当金（△）	35,904
（４）貯蔵品	662,600
３ 繰延資産	-
負債合計	131,396,482
１ 固定負債	98,196,618
（１）建設改良費等の財源に充てるための企業債	58,676,913
（２）その他の企業債	2,091,573
（３）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
（４）その他の長期借入金	8,000,000
（５）引当金	29,428,132
（６）リース債務	-
２ 流動負債	23,332,579
（１）建設改良費等の財源に充てるための企業債	10,686,459
（２）その他の企業債	338,207
（３）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
（４）その他の長期借入金	-
（５）引当金	3,875,464
（６）リース債務	-
（７）一時借入金	-
（８）未払金及び未払費用	7,844,266
（９）前受金及び前受収益	-
３ 繰延収益	9,867,285
（１）長期前受金	34,161,454
（２）長期前受金収益化累計額（△）	24,294,169
（３）繰延運営権対価	-
（４）繰延運営権対価収益化累計額（△）	-
（５）運営権者更新投資	-
（６）運営権者更新投資収益化累計額（△）	-
資本合計	75,888,029
１ 資本金	27,336,629
２ 剰余金	48,551,400
（１）資本剰余金	91,373,303
（２）利益剰余金	-42,821,903
負債・資本合計	207,284,511
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額（△）	-
資本不足額（繰延収益控除後）（△）	-

備考
当該貸借対照表の数値は、事業単位（当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある）の決算額である。

他会計からの繰入状況 (千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	519,489	603,767
資本勘定繰入	246,144	344,042
計	765,633	947,809

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額 (千円)	不良債務比率 (%)
令和５年度	-	-
令和４年度	-	-
令和３年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率 (%)	45.4
健全化法上の資金不足額 (千円)	-
健全化法上の資金不足比率 (%)	-
地財法上の資金不足額 (千円)	-
地財法上の資金不足比率 (%)	-

備考：

・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうちの他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。

・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
うちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から
他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
占める割合をいう。

・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補塡債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況（令和５年度）

都道府県名	岩手県

市町村・組合名	
病院名	中部病院

※特殊診療機能欄　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※指定病院の状況欄　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透　未訓ガ
病院区分	一般病院	不採算地区病院	
建物面積	32,836 ㎡	不採算地区中核病院	第２種該当
診療科数	28	指定病院の状況	救臨が　災地輪
許可公営企業		看護配置	７：１
ＤＰＣ対象病院	対象	経営形態	直営
		類似区分	400床以上～500床未満

病床利用率・平均在院日数　（%・日）

区分	病床数	令和５年度	令和４年度	令和３年度
一般	414	82.0	79.4	83.6
療養	-	-	-	-
結核	20	19.0	33.1	35.0
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	434	79.1	77.3	81.3
平均在院日数（一般病床のみ）		10.9	10.9	11.1

設立団体の状況		
人口（人）		1,210,534
決算規模（千円）		756,669,461
標準財政規模（千円）		390,645,538
財政力指数		0.35095
経常収支比率（%）		92.6
健全化判断比率	実質赤字比率（%）	-
	連結実質赤字比率（%）	-
	実質公債費比率（%）	12.7
	将来負担比率（%）	201.1

損益計算書　（千円・%）

区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	15,888,006			
１ 経常収益	15,888,006			
（１）医業収益	13,775,908			
（うち修正医業収益）	13,482,944			
① 入院収益	8,401,408			
② 外来収益	4,749,255			
診療収入計	13,150,663			
③ 繰延運営権対価収益	-			
④ 運営権者更新投資収益	-			
⑤ その他医業収益	625,245			
（うち他会計負担金）	292,964			
（２）医業外収益	2,112,098			
（うち国・都道府県補助金）	193,190			
（うち他会計補助・負担金）	1,409,008			
（うち長期前受金戻入）	440,094			
（うち資本費繰入収益）	-			
（３）特別利益	-			
（うち他会計繰入金）	-			
総費用	15,152,330			
２ 経常費用	15,152,330			
（１）医業費用	14,222,086			
① 職員給与費	6,888,065	50.0	58.7	55.7
② 材料費	4,617,983	33.5	26.9	28.9
（うち薬品費）	2,890,266	21.0	14.8	15.8
（うち薬品費以外の医薬材料費）	1,643,724	11.9	11.7	12.7
③ 減価償却費	897,689	6.5	8.5	7.9
④ 経費	1,759,651	12.8	21.5	18.1
（うち委託料）	713,037	5.2	11.5	10.0
⑤ 研究研修費	45,167			
⑥ 資産減耗費	13,531			
（２）医業外費用	930,244			
（うち支払利息）	186,023	1.4	0.9	0.9
（３）特別損失	-			
損益 経常損益	735,676			
損益 純損益	735,676			
累積欠損金	-			
経常収支比率	104.9		96.5	97.5
医業収支比率	96.9		86.0	90.0
修正医業収支比率	94.8		83.2	87.2
他会計繰入金対経常収益比率	10.7		11.5	9.6
他会計繰入金対医業収益比率	12.4		13.7	11.0
他会計繰入金対総収益比率	10.7		11.5	9.7
実質収益対経常費用比率	93.6		85.4	88.1

備考：
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表　（千円）

区分	決算額
資産合計	207,284,511
１ 固定資産	183,246,810
（１）有形固定資産	173,944,666
（２）無形固定資産	2,433,875
（３）投資その他の資産	6,868,269
２ 流動資産	24,037,701
（１）現金及び預金	3,419,730
（２）未収金及び未収収益	19,942,624
（３）貸倒引当金（△）	35,904
（４）貯蔵品	662,600
３ 繰延資産	-
負債合計	131,396,482
１ 固定負債	98,196,618
（１）建設改良費等の財源に充てるための企業債	58,676,913
（２）その他の企業債	2,091,573
（３）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
（４）その他の長期借入金	8,000,000
（５）引当金	29,428,132
（６）リース債務	-
２ 流動負債	23,332,579
（１）建設改良費等の財源に充てるための企業債	10,686,459
（２）その他の企業債	338,207
（３）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
（４）その他の長期借入金	-
（５）引当金	3,875,464
（６）リース債務	-
（７）一時借入金	-
（８）未払金及び未払費用	7,844,266
（９）前受金及び前受収益	-
３ 繰延収益	9,867,285
（１）長期前受金	34,161,454
（２）長期前受金収益化累計額（△）	24,294,169
（３）繰延運営権対価	-
（４）繰延運営権対価収益化累計額（△）	-
（５）運営権者更新投資	-
（６）運営権者更新投資収益化累計額（△）	-
資本合計	75,888,029
１ 資本金	27,336,629
２ 剰余金	48,551,400
（１）資本剰余金	91,373,303
（２）利益剰余金	-42,821,903
負債・資本合計	207,284,511
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額（△）	-
資本不足額（繰延収益控除後）（△）	-

備考
当該貸借対照表の数値は、事業単位（当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある）の決算額である。

他会計からの繰入状況　（千円）

区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,232,004	1,701,972
資本勘定繰入	720,842	1,101,705
計	1,952,846	2,803,677

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移

年度	不良債務額（千円）	不良債務比率（%）
令和５年度	-	-
令和４年度	-	-
令和３年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率（%）	45.4
健全化法上の資金不足額（千円）	-
健全化法上の資金不足比率（%）	-
地財法上の資金不足額（千円）	-
地財法上の資金不足比率（%）	-

備考：

・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうちの他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。

・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。

・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補塡債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況（令和５年度）

都道府県名	岩手県
市町村・組合名	
病院名	二戸病院

※特殊診療機能欄　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※指定病院の状況欄　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透　訓ガ
病院区分	一般病院	不採算地区病院	
建物面積	24,563 ㎡	不採算地区中核病院	第１種該当
診療科数	18	指定病院の状況	救臨が　災　輪
許可公営企業		看護配置	１０：１
ＤＰＣ対象病院	対象	経営形態	直営
		類似区分	200床以上～300床未満

病床利用率・平均在院日数				(%・日)
区分	病床数	令和５年度	令和４年度	令和３年度
一般	248	54.5	56.8	58.9
療養	-	-	-	-
結核	5	14.4	31.8	11.3
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	253	53.8	56.3	58.0
平均在院日数（一般病床のみ）		12.9	14.0	14.0

設立団体の状況		
人口 (人)		1,210,534
決算規模 (千円)		756,669,461
標準財政規模 (千円)		390,645,538
財政力指数		0.35095
経常収支比率 (%)		92.6
健全化判断比率	実質赤字比率 (%)	-
	連結実質赤字比率 (%)	-
	実質公債費比率 (%)	12.7
	将来負担比率 (%)	201.1

損益計算書				(千円・%)
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	5,785,813			
１ 経常収益	5,785,813			
（1）医業収益	4,544,434			
（うち修正医業収益）	4,328,635			
① 入院収益	2,651,331			
② 外来収益	1,478,196			
診療収入計	4,129,527			
③ 繰延運営権対価収益	-			
④ 運営権者更新投資収益	-			
⑤ その他医業収益	414,907			
（うち他会計負担金）	215,799			
（2）医業外収益	1,241,379			
（うち国・都道府県補助金）	219,224			
（うち他会計補助・負担金）	760,782			
（うち長期前受金戻入）	232,425			
（うち資本費繰入収益）	-			
（3）特別利益	-			
（うち他会計繰入金）	-			
総費用	6,552,746			
２ 経常費用	6,552,746			
（1）医業費用	6,165,803			
① 職員給与費	3,597,069	79.2	58.7	63.9
② 材料費	1,048,524	23.1	26.9	21.1
（うち薬品費）	588,793	13.0	14.8	10.6
（うち薬品費以外の医薬材料費）	421,839	9.3	11.7	10.2
③ 減価償却費	470,035	10.3	8.5	9.3
④ 経費	1,011,909	22.3	21.5	28.2
（うち委託料）	383,169	8.4	11.5	14.0
⑤ 研究研修費	21,074			
⑥ 資産減耗費	17,192			
（2）医業外費用	386,943			
（うち支払利息）	104,663	2.3	0.9	1.0
（3）特別損失	-			
損益 経常損益	-766,933			
損益 純損益	-766,933			
累積欠損金	7,633,370			
経常収支比率	88.3		96.5	93.2
医業収支比率	73.7		86.0	81.2
修正医業収支比率	70.2		83.2	77.9
他会計繰入金対経常収益比率	16.9		11.5	13.2
他会計繰入金対医業収益比率	21.5		13.7	16.1
他会計繰入金対総収益比率	16.9		11.5	13.3
実質収益対経常費用比率	73.4		85.4	80.9

備考：
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表	(千円)
区分	決算額
資産合計	207,284,511
１ 固定資産	183,246,810
（1）有形固定資産	173,944,666
（2）無形固定資産	2,433,875
（3）投資その他の資産	6,868,269
２ 流動資産	24,037,701
（1）現金及び預金	3,419,730
（2）未収金及び未収収益	19,942,624
（3）貸倒引当金（△）	35,904
（4）貯蔵品	662,600
３ 繰延資産	-
負債合計	131,396,482
１ 固定負債	98,196,618
（1）建設改良費等の財源に充てるための企業債	58,676,913
（2）その他の企業債	2,091,573
（3）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
（4）その他の長期借入金	8,000,000
（5）引当金	29,428,132
（6）リース債務	-
２ 流動負債	23,332,579
（1）建設改良費等の財源に充てるための企業債	10,686,459
（2）その他の企業債	338,207
（3）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
（4）その他の長期借入金	-
（5）引当金	3,875,464
（6）リース債務	-
（7）一時借入金	-
（8）未払金及び未払費用	7,844,266
（9）前受金及び前受収益	-
３ 繰延収益	9,867,285
（1）長期前受金	34,161,454
（2）長期前受金収益化累計額（△）	24,294,169
（3）繰延運営権対価	-
（4）繰延運営権対価収益化累計額（△）	-
（5）運営権者更新投資	-
（6）運営権者更新投資収益化累計額（△）	-
資本合計	75,888,029
１ 資本金	27,336,629
２ 剰余金	48,551,400
（1）資本剰余金	91,373,303
（2）利益剰余金	-42,821,903
負債・資本合計	207,284,511
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額（△）	-
資本不足額（繰延収益控除後）（△）	-

備考
当該貸借対照表の数値は、事業単位（当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある）の決算額である。

他会計からの繰入状況 (千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	771,434	976,581
資本勘定繰入	610,472	853,516
計	1,381,906	1,830,097

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額 (千円)	不良債務比率 (%)
令和５年度	-	-
令和４年度	-	-
令和３年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率 (%)	45.4
健全化法上の資金不足額 (千円)	-
健全化法上の資金不足比率 (%)	-
地財法上の資金不足額 (千円)	-
地財法上の資金不足比率 (%)	-

備考：

・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうちの他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。

・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
うちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から
他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
占める割合をいう。

・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補塡債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況（令和５年度）

都道府県名	岩手県

市町村・組合名	
病院名	一戸病院

※特殊診療機能欄　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※指定病院の状況欄　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	20,774 ㎡	不採算地区中核病院	非該当
診療科数	10	指定病院の状況	救　感
許可公営企業		看護配置	１０：１
ＤＰＣ対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	100床以上～200床未満

病床利用率・平均在院日数				(%・日)
区分	病床数	令和５年度	令和４年度	令和３年度
一般	48	47.0	44.9	48.3
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	147	73.7	71.0	79.2
感染症	4	5.6	28.9	25.8
計	199	65.8	63.9	70.7
平均在院日数（一般病床のみ）		22.0	21.6	19.8

設立団体の状況		
人口 (人)		1,210,534
決算規模 (千円)		756,669,461
標準財政規模 (千円)		390,645,538
財政力指数		0.35095
経常収支比率 (%)		92.6
健全化判断比率	実質赤字比率 (%)	-
	連結実質赤字比率 (%)	-
	実質公債費比率 (%)	12.7
	将来負担比率 (%)	201.1

損益計算書　(千円・%)

区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,466,419			
１ 経常収益	2,466,419			
（1）医業収益	1,364,656			
（うち修正医業収益）	1,307,716			
① 入院収益	886,867			
② 外来収益	367,785			
診療収入計	1,254,652			
③ 繰延運営権対価収益	-			
④ 運営権者更新投資収益	-			
⑤ その他医業収益	110,004			
（うち他会計負担金）	56,940			
（2）医業外収益	1,101,763			
（うち国・都道府県補助金）	36,924			
（うち他会計補助・負担金）	984,610			
（うち長期前受金戻入）	55,474			
（うち資本費繰入収益）	-			
（3）特別利益	-			
（うち他会計繰入金）	-			
総費用	2,902,597			
２ 経常費用	2,902,597			
（1）医業費用	2,722,306			
① 職員給与費	1,867,212	136.8	58.7	67.7
② 材料費	110,914	8.1	26.9	18.3
（うち薬品費）	73,217	5.4	14.8	8.6
（うち薬品費以外の医薬材料費）	37,643	2.8	11.7	9.1
③ 減価償却費	157,522	11.5	8.5	10.3
④ 経費	572,278	41.9	21.5	29.4
（うち委託料）	285,173	20.9	11.5	13.6
⑤ 研究研修費	9,099			
⑥ 資産減耗費	5,281			
（2）医業外費用	180,291			
（うち支払利息）	54,514	4.0	0.9	1.1
（3）特別損失	-			
損益 経常損益	-436,178			
損益 純損益	-436,178			
累積欠損金	19,204,121			
経常収支比率	85.0		96.5	95.4
医業収支比率	50.1		86.0	79.1
修正医業収支比率	48.0		83.2	74.9
他会計繰入金対経常収益比率	42.2		11.5	17.0
他会計繰入金対医業収益比率	76.3		13.7	21.8
他会計繰入金対総収益比率	42.2		11.5	17.1
実質収益対経常費用比率	49.1		85.4	79.2

備考：
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表　(千円)

区分	決算額
資産合計	207,284,511
１ 固定資産	183,246,810
（1）有形固定資産	173,944,666
（2）無形固定資産	2,433,875
（3）投資その他の資産	6,868,269
２ 流動資産	24,037,701
（1）現金及び預金	3,419,730
（2）未収金及び未収収益	19,942,624
（3）貸倒引当金（△）	35,904
（4）貯蔵品	662,600
３ 繰延資産	-
負債合計	131,396,482
１ 固定負債	98,196,618
（1）建設改良費等の財源に充てるための企業債	58,676,913
（2）その他の企業債	2,091,573
（3）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
（4）その他の長期借入金	8,000,000
（5）引当金	29,428,132
（6）リース債務	-
２ 流動負債	23,332,579
（1）建設改良費等の財源に充てるための企業債	10,686,459
（2）その他の企業債	338,207
（3）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
（4）その他の長期借入金	-
（5）引当金	3,875,464
（6）リース債務	-
（7）一時借入金	-
（8）未払金及び未払費用	7,844,266
（9）前受金及び前受収益	-
３ 繰延収益	9,867,285
（1）長期前受金	34,161,454
（2）長期前受金収益化累計額（△）	24,294,169
（3）繰延運営権対価	-
（4）繰延運営権対価収益化累計額（△）	-
（5）運営権者更新投資	-
（6）運営権者更新投資収益化累計額（△）	-
資本合計	75,888,029
１ 資本金	27,336,629
２ 剰余金	48,551,400
（1）資本剰余金	91,373,303
（2）利益剰余金	-42,821,903
負債・資本合計	207,284,511
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額（△）	-
資本不足額（繰延収益控除後）（△）	-

備考
当該貸借対照表の数値は、事業単位（当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある）の決算額である。

他会計からの繰入状況　(千円)

区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	955,420	1,041,550
資本勘定繰入	292,750	408,515
計	1,248,170	1,450,065

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移

年度	不良債務額 (千円)	不良債務比率 (%)
令和５年度	-	-
令和４年度	-	-
令和３年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率 (%)	45.4
健全化法上の資金不足額 (千円)	-
健全化法上の資金不足比率 (%)	-
地財法上の資金不足額 (千円)	-
地財法上の資金不足比率 (%)	-

備考：

・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうちの他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。

・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
うちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から
他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
占める割合をいう。

・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補塡債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況（令和５年度）

都道府県名	岩手県

市町村・組合名	
病院名	大槌病院

※特殊診療機能欄　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※指定病院の状況欄　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第２種該当
建物面積	5,352 ㎡	不採算地区中核病院	
診療科数	6	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	１３：１
ＤＰＣ対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	50床以上～100床未満

病床利用率・平均在院日数				(%・日)
区分	病床数	令和５年度	令和４年度	令和３年度
一般	50	34.0	39.6	46.3
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	50	34.0	39.6	46.3
平均在院日数（一般病床のみ）		18.6	18.9	22.8

設立団体の状況		
人口 (人)		1,210,534
決算規模 (千円)		756,669,461
標準財政規模 (千円)		390,645,538
財政力指数		0.35095
経常収支比率 (%)		92.6
健全化判断比率	実質赤字比率 (%)	-
	連結実質赤字比率 (%)	-
	実質公債費比率 (%)	12.7
	将来負担比率 (%)	201.1

損益計算書　(千円・%)

区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	785,046			
１ 経常収益	785,046			
（１）医業収益	312,060			
（うち修正医業収益）	304,886			
① 入院収益	178,443			
② 外来収益	114,279			
診療収入計	292,722			
③ 繰延運営権対価収益	-			
④ 運営権者更新投資収益	-			
⑤ その他医業収益	19,338			
（うち他会計負担金）	7,174			
（２）医業外収益	472,986			
（うち国・都道府県補助金）	26,677			
（うち他会計補助・負担金）	312,069			
（うち長期前受金戻入）	129,706			
（うち資本費繰入収益）	-			
（３）特別利益	-			
（うち他会計繰入金）	-			
総費用	1,169,566			
２ 経常費用	1,001,106			
（１）医業費用	952,966			
① 職員給与費	627,338	201.0	58.7	78.7
② 材料費	42,187	13.5	26.9	14.5
（うち薬品費）	17,923	5.7	14.8	7.7
（うち薬品費以外の医薬材料費）	22,829	7.3	11.7	6.1
③ 減価償却費	134,094	43.0	8.5	11.8
④ 経費	146,243	46.9	21.5	32.3
（うち委託料）	59,263	19.0	11.5	15.3
⑤ 研究研修費	3,025			
⑥ 資産減耗費	79			
（２）医業外費用	48,140			
（うち支払利息）	78	-	0.9	1.1
（３）特別損失	168,460			
損益 経常損益	-216,060			
損益 純損益	-384,520			
累積欠損金	4,850,113			
経常収支比率	78.4		96.5	96.4
医業収支比率	32.7		86.0	72.4
修正医業収支比率	32.0		83.2	68.2
他会計繰入金対経常収益比率	40.7		11.5	24.2
他会計繰入金対医業収益比率	102.3		13.7	34.4
他会計繰入金対総収益比率	40.7		11.5	24.2
実質収益対経常費用比率	46.5		85.4	73.0

備考：
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表　(千円)

区分	決算額
資産合計	207,284,511
１ 固定資産	183,246,810
（１）有形固定資産	173,944,666
（２）無形固定資産	2,433,875
（３）投資その他の資産	6,868,269
２ 流動資産	24,037,701
（１）現金及び預金	3,419,730
（２）未収金及び未収収益	19,942,624
（３）貸倒引当金（△）	35,904
（４）貯蔵品	662,600
３ 繰延資産	-
負債合計	131,396,482
１ 固定負債	98,196,618
（１）建設改良費等の財源に充てるための企業債	58,676,913
（２）その他の企業債	2,091,573
（３）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
（４）その他の長期借入金	8,000,000
（５）引当金	29,428,132
（６）リース債務	-
２ 流動負債	23,332,579
（１）建設改良費等の財源に充てるための企業債	10,686,459
（２）その他の企業債	338,207
（３）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
（４）その他の長期借入金	-
（５）引当金	3,875,464
（６）リース債務	-
（７）一時借入金	-
（８）未払金及び未払費用	7,844,266
（９）前受金及び前受収益	-
３ 繰延収益	9,867,285
（１）長期前受金	34,161,454
（２）長期前受金収益化累計額（△）	24,294,169
（３）繰延運営権対価	-
（４）繰延運営権対価収益化累計額（△）	-
（５）運営権者更新投資	-
（６）運営権者更新投資収益化累計額（△）	-
資本合計	75,888,029
１ 資本金	27,336,629
２ 剰余金	48,551,400
（１）資本剰余金	91,373,303
（２）利益剰余金	-42,821,903
負債・資本合計	207,284,511
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額（△）	-
資本不足額（繰延収益控除後）（△）	-

備考
当該貸借対照表の数値は、事業単位（当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある）の決算額である。

他会計からの繰入状況 (千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	302,521	319,243
資本勘定繰入	6,347	9,285
計	308,868	328,528

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額 (千円)	不良債務比率 (%)
令和５年度	-	-
令和４年度	-	-
令和３年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率 (%)	45.4
健全化法上の資金不足額 (千円)	-
健全化法上の資金不足比率 (%)	-
地財法上の資金不足額 (千円)	-
地財法上の資金不足比率 (%)	-

備考：

・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうちの他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。

・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
うちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から
他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
占める割合をいう。

・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補塡債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況（令和５年度）

都道府県名	岩手県

市町村・組合名	
病院名	山田病院

※特殊診療機能欄　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※指定病院の状況欄　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第１種該当
建物面積	3,529 ㎡	不採算地区中核病院	
診療科数	6	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	１０：１
ＤＰＣ対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	50床以上～100床未満

病床利用率・平均在院日数				(%･日)
区分	病床数	令和５年度	令和４年度	令和３年度
一般	50	39.0	39.6	34.1
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	50	39.0	39.6	34.1
平均在院日数（一般病床のみ）		17.8	16.5	17.2

設立団体の状況		
人口 (人)		1,210,534
決算規模 (千円)		756,669,461
標準財政規模 (千円)		390,645,538
財政力指数		0.35095
経常収支比率 (%)		92.6
健全化判断比率	実質赤字比率 (%)	-
	連結実質赤字比率 (%)	-
	実質公債費比率 (%)	12.7
	将来負担比率 (%)	201.1

損益計算書　(千円・%)

区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	899,611			
１ 経常収益	899,611			
（1）医業収益	372,553			
（うち修正医業収益）	362,830			
① 入院収益	182,436			
② 外来収益	167,899			
診療収入計	350,335			
③ 繰延運営権対価収益	-			
④ 運営権者更新投資収益	-			
⑤ その他医業収益	22,218			
（うち他会計負担金）	9,723			
（2）医業外収益	527,058			
（うち国・都道府県補助金）	57,237			
（うち他会計補助・負担金）	358,851			
（うち長期前受金戻入）	107,846			
（うち資本費繰入収益）	-			
（3）特別利益	-			
（うち他会計繰入金）	-			
総費用	990,835			
２ 経常費用	990,835			
（1）医業費用	945,999			
① 職員給与費	623,801	167.4	58.7	78.7
② 材料費	42,556	11.4	26.9	14.5
（うち薬品費）	21,942	5.9	14.8	7.7
（うち薬品費以外の医薬材料費）	18,224	4.9	11.7	6.1
③ 減価償却費	112,298	30.1	8.5	11.8
④ 経費	163,813	44.0	21.5	32.3
（うち委託料）	71,800	19.3	11.5	15.3
⑤ 研究研修費	3,312			
⑥ 資産減耗費	219			
（2）医業外費用	44,836			
（うち支払利息）	16,382	4.4	0.9	1.1
（3）特別損失	-			
損益 経常損益	-91,224			
損益 純損益	-91,224			
累積欠損金	4,634,990			
経常収支比率	90.8		96.5	96.4
医業収支比率	39.4		86.0	72.4
修正医業収支比率	38.4		83.2	68.2
他会計繰入金対経常収益比率	41.0		11.5	24.2
他会計繰入金対医業収益比率	98.9		13.7	34.4
他会計繰入金対総収益比率	41.0		11.5	24.2
実質収益対経常費用比率	53.6		85.4	73.0

備考：
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表　(千円)

区分	決算額
資産合計	207,284,511
１ 固定資産	183,246,810
（1）有形固定資産	173,944,666
（2）無形固定資産	2,433,875
（3）投資その他の資産	6,868,269
２ 流動資産	24,037,701
（1）現金及び預金	3,419,730
（2）未収金及び未収収益	19,942,624
（3）貸倒引当金（△）	35,904
（4）貯蔵品	662,600
３ 繰延資産	-
負債合計	131,396,482
１ 固定負債	98,196,618
（1）建設改良費等の財源に充てるための企業債	58,676,913
（2）その他の企業債	2,091,573
（3）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
（4）その他の長期借入金	8,000,000
（5）引当金	29,428,132
（6）リース債務	-
２ 流動負債	23,332,579
（1）建設改良費等の財源に充てるための企業債	10,686,459
（2）その他の企業債	338,207
（3）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
（4）その他の長期借入金	-
（5）引当金	3,875,464
（6）リース債務	-
（7）一時借入金	-
（8）未払金及び未払費用	7,844,266
（9）前受金及び前受収益	-
３ 繰延収益	9,867,285
（1）長期前受金	34,161,454
（2）長期前受金収益化累計額（△）	24,294,169
（3）繰延運営権対価	-
（4）繰延運営権対価収益化累計額（△）	-
（5）運営権者更新投資	-
（6）運営権者更新投資収益化累計額（△）	-
資本合計	75,888,029
１ 資本金	27,336,629
２ 剰余金	48,551,400
（1）資本剰余金	91,373,303
（2）利益剰余金	-42,821,903
負債・資本合計	207,284,511
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額（△）	-
資本不足額（繰延収益控除後）（△）	-

備考
当該貸借対照表の数値は、事業単位（当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある）の決算額である。

他会計からの繰入状況 (千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	339,581	368,574
資本勘定繰入	38,837	60,015
計	378,418	428,589

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額 (千円)	不良債務比率 (%)
令和５年度	-	-
令和４年度	-	-
令和３年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率 (%)	45.4
健全化法上の資金不足額 (千円)	-
健全化法上の資金不足比率 (%)	-
地財法上の資金不足額 (千円)	-
地財法上の資金不足比率 (%)	-

備考：

・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうちの他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。

・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
うちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から
他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
占める割合をいう。

・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補塡債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況（令和５年度）

都道府県名	岩手県

市町村・組合名	
病院名	軽米病院

※特殊診療機能欄　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※指定病院の状況欄　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第１種該当
建物面積	6,521 ㎡	不採算地区中核病院	
診療科数	5	指定病院の状況	救　輪
許可公営企業		看護配置	１０：１
ＤＰＣ対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	50床以上～100床未満

病床利用率・平均在院日数				(%・日)
区分	病床数	令和５年度	令和４年度	令和３年度
一般	53	73.5	70.9	81.5
療養	45	56.3	52.8	64.1
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	98	65.6	62.6	73.5
平均在院日数（一般病床のみ）		20.7	23.5	22.3

設立団体の状況		
人口 (人)		1,210,534
決算規模 (千円)		756,669,461
標準財政規模 (千円)		390,645,538
財政力指数		0.35095
経常収支比率 (%)		92.6
健全化判断比率	実質赤字比率 (%)	-
	連結実質赤字比率 (%)	-
	実質公債費比率 (%)	12.7
	将来負担比率 (%)	201.1

損益計算書　(千円・%)

区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,185,222			
１ 経常収益	1,185,222			
（1）医業収益	879,477			
（うち修正医業収益）	842,857			
① 入院収益	601,895			
② 外来収益	202,917			
診療収入計	804,812			
③ 繰延運営権対価収益	-			
④ 運営権者更新投資収益	-			
⑤ その他医業収益	74,665			
（うち他会計負担金）	36,620			
（2）医業外収益	305,745			
（うち国・都道府県補助金）	14,003			
（うち他会計補助・負担金）	242,871			
（うち長期前受金戻入）	40,629			
（うち資本費繰入収益）	-			
（3）特別利益	-			
（うち他会計繰入金）	-			
総費用	1,336,260			
２ 経常費用	1,336,260			
（1）医業費用	1,291,978			
① 職員給与費	857,283	97.5	58.7	78.7
② 材料費	84,284	9.6	26.9	14.5
（うち薬品費）	31,967	3.6	14.8	7.7
（うち薬品費以外の医薬材料費）	52,284	5.9	11.7	6.1
③ 減価償却費	102,247	11.6	8.5	11.8
④ 経費	240,258	27.3	21.5	32.3
（うち委託料）	139,018	15.8	11.5	15.3
⑤ 研究研修費	5,212			
⑥ 資産減耗費	2,694			
（2）医業外費用	44,282			
（うち支払利息）	935	0.1	0.9	1.1
（3）特別損失	-			
損益 経常損益	-151,038			
損益 純損益	-151,038			
累積欠損金	595,717			
経常収支比率	88.7		96.5	96.4
医業収支比率	68.1		86.0	72.4
修正医業収支比率	65.2		83.2	68.2
他会計繰入金対経常収益比率	23.6		11.5	24.2
他会計繰入金対医業収益比率	31.8		13.7	34.4
他会計繰入金対総収益比率	23.6		11.5	24.2
実質収益対経常費用比率	67.8		85.4	73.0

備考：
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表　(千円)

区分	決算額
資産合計	207,284,511
１ 固定資産	183,246,810
（1）有形固定資産	173,944,666
（2）無形固定資産	2,433,875
（3）投資その他の資産	6,868,269
２ 流動資産	24,037,701
（1）現金及び預金	3,419,730
（2）未収金及び未収収益	19,942,624
（3）貸倒引当金（△）	35,904
（4）貯蔵品	662,600
３ 繰延資産	-
負債合計	131,396,482
１ 固定負債	98,196,618
（1）建設改良費等の財源に充てるための企業債	58,676,913
（2）その他の企業債	2,091,573
（3）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
（4）その他の長期借入金	8,000,000
（5）引当金	29,428,132
（6）リース債務	-
２ 流動負債	23,332,579
（1）建設改良費等の財源に充てるための企業債	10,686,459
（2）その他の企業債	338,207
（3）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
（4）その他の長期借入金	-
（5）引当金	3,875,464
（6）リース債務	-
（7）一時借入金	-
（8）未払金及び未払費用	7,844,266
（9）前受金及び前受収益	-
３ 繰延収益	9,867,285
（1）長期前受金	34,161,454
（2）長期前受金収益化累計額（△）	24,294,169
（3）繰延運営権対価	-
（4）繰延運営権対価収益化累計額（△）	-
（5）運営権者更新投資	-
（6）運営権者更新投資収益化累計額（△）	-
資本合計	75,888,029
１ 資本金	27,336,629
２ 剰余金	48,551,400
（1）資本剰余金	91,373,303
（2）利益剰余金	-42,821,903
負債・資本合計	207,284,511
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額（△）	-
資本不足額（繰延収益控除後）（△）	-

備考
当該貸借対照表の数値は、事業単位（当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある）の決算額である。

他会計からの繰入状況　(千円)

区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	255,620	279,491
資本勘定繰入	44,447	66,034
計	300,067	345,525

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移

年度	不良債務額 (千円)	不良債務比率 (%)
令和５年度	-	-
令和４年度	-	-
令和３年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率 (%)	45.4
健全化法上の資金不足額 (千円)	-
健全化法上の資金不足比率 (%)	-
地財法上の資金不足額 (千円)	-
地財法上の資金不足比率 (%)	-

備考：

・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうちの他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。

・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
うちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から
他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
占める割合をいう。

・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補塡債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況（令和５年度）

都道府県名	岩手県

市町村・組合名	
病院名	大東病院

※特殊診療機能欄　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※指定病院の状況欄　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第１種該当
建物面積	5,594 ㎡	不採算地区中核病院	
診療科数	5	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	１０：１
ＤＰＣ対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	50床未満

病床利用率・平均在院日数				(%・日)
区分	病床数	令和５年度	令和４年度	令和３年度
一般	40	40.8	46.1	46.4
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	40	40.8	46.1	46.4
平均在院日数（一般病床のみ）		17.4	18.6	17.6

設立団体の状況		
人口 (人)		1,210,534
決算規模 (千円)		756,669,461
標準財政規模 (千円)		390,645,538
財政力指数		0.35095
経常収支比率 (%)		92.6
健全化判断比率	実質赤字比率 (%)	-
	連結実質赤字比率 (%)	-
	実質公債費比率 (%)	12.7
	将来負担比率 (%)	201.1

損益計算書　(千円・%)

区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	680,333			
１ 経常収益	680,333			
（1）医業収益	271,438			
（うち修正医業収益）	266,904			
① 入院収益	183,640			
② 外来収益	69,967			
診療収入計	253,607			
③ 繰延運営権対価収益	-			
④ 運営権者更新投資収益	-			
⑤ その他医業収益	17,831			
（うち他会計負担金）	4,534			
（2）医業外収益	408,895			
（うち国・都道府県補助金）	15,691			
（うち他会計補助・負担金）	369,034			
（うち長期前受金戻入）	22,881			
（うち資本費繰入収益）	-			
（3）特別利益	-			
（うち他会計繰入金）	-			
総費用	810,325			
２ 経常費用	810,325			
（1）医業費用	783,299			
① 職員給与費	543,296	200.2	58.7	89.5
② 材料費	21,282	7.8	26.9	13.4
（うち薬品費）	6,507	2.4	14.8	7.2
（うち薬品費以外の医薬材料費）	14,758	5.4	11.7	5.5
③ 減価償却費	58,037	21.4	8.5	14.0
④ 経費	156,426	57.6	21.5	46.3
（うち委託料）	76,749	28.3	11.5	22.2
⑤ 研究研修費	3,014			
⑥ 資産減耗費	1,244			
（2）医業外費用	27,026			
（うち支払利息）	248	0.1	0.9	1.0
（3）特別損失	-			
損益 経常損益	-129,992			
損益 純損益	-129,992			
累積欠損金	5,046,029			
経常収支比率	84.0		96.5	97.3
医業収支比率	34.7		86.0	60.9
修正医業収支比率	34.1		83.2	56.2
他会計繰入金対経常収益比率	54.9		11.5	35.0
他会計繰入金対医業収益比率	137.6		13.7	59.4
他会計繰入金対総収益比率	54.9		11.5	35.0
実質収益対経常費用比率	37.9		85.4	63.3

備考：
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表　(千円)

区分	決算額
資産合計	207,284,511
１ 固定資産	183,246,810
（1）有形固定資産	173,944,666
（2）無形固定資産	2,433,875
（3）投資その他の資産	6,868,269
２ 流動資産	24,037,701
（1）現金及び預金	3,419,730
（2）未収金及び未収収益	19,942,624
（3）貸倒引当金（△）	35,904
（4）貯蔵品	662,600
３ 繰延資産	-
負債合計	131,396,482
１ 固定負債	98,196,618
（1）建設改良費等の財源に充てるための企業債	58,676,913
（2）その他の企業債	2,091,573
（3）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
（4）その他の長期借入金	8,000,000
（5）引当金	29,428,132
（6）リース債務	-
２ 流動負債	23,332,579
（1）建設改良費等の財源に充てるための企業債	10,686,459
（2）その他の企業債	338,207
（3）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
（4）その他の長期借入金	-
（5）引当金	3,875,464
（6）リース債務	-
（7）一時借入金	-
（8）未払金及び未払費用	7,844,266
（9）前受金及び前受収益	-
３ 繰延収益	9,867,285
（1）長期前受金	34,161,454
（2）長期前受金収益化累計額（△）	24,294,169
（3）繰延運営権対価	-
（4）繰延運営権対価収益化累計額（△）	-
（5）運営権者更新投資	-
（6）運営権者更新投資収益化累計額（△）	-
資本合計	75,888,029
１ 資本金	27,336,629
２ 剰余金	48,551,400
（1）資本剰余金	91,373,303
（2）利益剰余金	-42,821,903
負債・資本合計	207,284,511
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額（△）	-
資本不足額（繰延収益控除後）（△）	-

備考
当該貸借対照表の数値は、事業単位（当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある）の決算額である。

他会計からの繰入状況　(千円)

区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	358,585	373,568
資本勘定繰入	20,396	30,492
計	378,981	404,060

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移

年度	不良債務額 (千円)	不良債務比率 (%)
令和５年度	-	-
令和４年度	-	-
令和３年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率 (%)	45.4
健全化法上の資金不足額 (千円)	-
健全化法上の資金不足比率 (%)	-
地財法上の資金不足額 (千円)	-
地財法上の資金不足比率 (%)	-

備考：

・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうちの他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。

・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
うちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から
他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
占める割合をいう。

・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補塡債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況（令和５年度）

都道府県名	岩手県

市町村・組合名	
病院名	東和病院

※特殊診療機能欄　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※指定病院の状況欄　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第２種該当
建物面積	4,154 ㎡	不採算地区中核病院	
診療科数	4	指定病院の状況	救
許可公営企業		看護配置	１０：１
ＤＰＣ対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	50床以上～100床未満

病床利用率・平均在院日数				(%・日)
区分	病床数	令和５年度	令和４年度	令和３年度
一般	68	68.4	71.5	76.3
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	68	68.4	71.5	76.3
平均在院日数（一般病床のみ）		26.1	28.1	23.8

設立団体の状況		
人口 (人)		1,210,534
決算規模 (千円)		756,669,461
標準財政規模 (千円)		390,645,538
財政力指数		0.35095
経常収支比率 (%)		92.6
健全化判断比率	実質赤字比率 (%)	-
	連結実質赤字比率 (%)	-
	実質公債費比率 (%)	12.7
	将来負担比率 (%)	201.1

損益計算書　(千円・%)

区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	966,596			
１ 経常収益	966,596			
（1）医業収益	689,046			
（うち修正医業収益）	655,754			
① 入院収益	489,673			
② 外来収益	141,665			
診療収入計	631,338			
③ 繰延運営権対価収益	-			
④ 運営権者更新投資収益	-			
⑤ その他医業収益	57,708			
（うち他会計負担金）	33,292			
（2）医業外収益	277,550			
（うち国・都道府県補助金）	7,370			
（うち他会計補助・負担金）	218,923			
（うち長期前受金戻入）	38,896			
（うち資本費繰入収益）	-			
（3）特別利益	-			
（うち他会計繰入金）	-			
総費用	1,105,689			
２ 経常費用	1,105,689			
（1）医業費用	1,062,823			
① 職員給与費	749,346	108.8	58.7	78.7
② 材料費	57,461	8.3	26.9	14.5
（うち薬品費）	25,249	3.7	14.8	7.7
（うち薬品費以外の医薬材料費）	32,167	4.7	11.7	6.1
③ 減価償却費	81,116	11.8	8.5	11.8
④ 経費	170,373	24.7	21.5	32.3
（うち委託料）	90,092	13.1	11.5	15.3
⑤ 研究研修費	3,226			
⑥ 資産減耗費	1,301			
（2）医業外費用	42,866			
（うち支払利息）	9,745	1.4	0.9	1.1
（3）特別損失	-			
損益 経常損益	-139,093			
損益 純損益	-139,093			
累積欠損金	189,289			
経常収支比率	87.4		96.5	96.4
医業収支比率	64.8		86.0	72.4
修正医業収支比率	61.7		83.2	68.2
他会計繰入金対経常収益比率	26.1		11.5	24.2
他会計繰入金対医業収益比率	36.6		13.7	34.4
他会計繰入金対総収益比率	26.1		11.5	24.2
実質収益対経常費用比率	64.6		85.4	73.0

備考：
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表　(千円)

区分	決算額
資産合計	207,284,511
１ 固定資産	183,246,810
（1）有形固定資産	173,944,666
（2）無形固定資産	2,433,875
（3）投資その他の資産	6,868,269
２ 流動資産	24,037,701
（1）現金及び預金	3,419,730
（2）未収金及び未収収益	19,942,624
（3）貸倒引当金（△）	35,904
（4）貯蔵品	662,600
３ 繰延資産	-
負債合計	131,396,482
１ 固定負債	98,196,618
（1）建設改良費等の財源に充てるための企業債	58,676,913
（2）その他の企業債	2,091,573
（3）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
（4）その他の長期借入金	8,000,000
（5）引当金	29,428,132
（6）リース債務	-
２ 流動負債	23,332,579
（1）建設改良費等の財源に充てるための企業債	10,686,459
（2）その他の企業債	338,207
（3）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
（4）その他の長期借入金	-
（5）引当金	3,875,464
（6）リース債務	-
（7）一時借入金	-
（8）未払金及び未払費用	7,844,266
（9）前受金及び前受収益	-
３ 繰延収益	9,867,285
（1）長期前受金	34,161,454
（2）長期前受金収益化累計額（△）	24,294,169
（3）繰延運営権対価	-
（4）繰延運営権対価収益化累計額（△）	-
（5）運営権者更新投資	-
（6）運営権者更新投資収益化累計額（△）	-
資本合計	75,888,029
１ 資本金	27,336,629
２ 剰余金	48,551,400
（1）資本剰余金	91,373,303
（2）利益剰余金	-42,821,903
負債・資本合計	207,284,511
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額（△）	-
資本不足額（繰延収益控除後）（△）	-

備考
当該貸借対照表の数値は、事業単位（当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある）の決算額である。

他会計からの繰入状況 (千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	233,753	252,215
資本勘定繰入	105,536	148,389
計	339,289	400,604

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額 (千円)	不良債務比率 (%)
令和５年度	-	-
令和４年度	-	-
令和３年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率 (%)	45.4
健全化法上の資金不足額 (千円)	-
健全化法上の資金不足比率 (%)	-
地財法上の資金不足額 (千円)	-
地財法上の資金不足比率 (%)	-

備考：

・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうちの他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。

・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
うちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から
他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
占める割合をいう。

・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補塡債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況（令和５年度）

都道府県名	岩手県

市町村・組合名	
病院名	南光病院

※特殊診療機能欄　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※指定病院の状況欄　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	
病院区分	精神科病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	20,691 ㎡	不採算地区中核病院	非該当
診療科数	2	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	１５：１
ＤＰＣ対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	精神病院

病床利用率・平均在院日数				(%・日)
区分	病床数	令和５年度	令和４年度	令和３年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	359	50.3	50.2	50.7
感染症	-	-	-	-
計	359	50.3	50.2	50.7
平均在院日数（一般病床のみ）		-	-	-

設立団体の状況		
人口 (人)		1,210,534
決算規模 (千円)		756,669,461
標準財政規模 (千円)		390,645,538
財政力指数		0.35095
経常収支比率 (%)		92.6
健全化判断比率	実質赤字比率 (%)	-
	連結実質赤字比率 (%)	-
	実質公債費比率 (%)	12.7
	将来負担比率 (%)	201.1

損益計算書　(千円・%)

区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	3,108,826			
１ 経常収益	2,970,061			
（1）医業収益	1,603,458			
（うち修正医業収益）	1,591,739			
① 入院収益	1,243,717			
② 外来収益	318,586			
診療収入計	1,562,303			
③ 繰延運営権対価収益	-			
④ 運営権者更新投資収益	-			
⑤ その他医業収益	41,155			
（うち他会計負担金）	11,719			
（2）医業外収益	1,366,603			
（うち国・都道府県補助金）	14,486			
（うち他会計補助・負担金）	1,284,104			
（うち長期前受金戻入）	43,175			
（うち資本費繰入収益）	-			
（3）特別利益	138,765			
（うち他会計繰入金）	-			
総費用	3,411,994			
２ 経常費用	3,165,593			
（1）医業費用	2,892,337			
① 職員給与費	2,078,945	129.7	58.7	104.5
② 材料費	208,390	13.0	26.9	9.7
（うち薬品費）	124,168	7.7	14.8	6.5
（うち薬品費以外の医薬材料費）	28,077	1.8	11.7	1.6
③ 減価償却費	155,277	9.7	8.5	12.8
④ 経費	437,526	27.3	21.5	34.3
（うち委託料）	186,306	11.6	11.5	15.4
⑤ 研究研修費	11,433			
⑥ 資産減耗費	766			
（2）医業外費用	273,256			
（うち支払利息）	113,638	7.1	0.9	2.2
（3）特別損失	246,401			
損益 経常損益	-195,532			
損益 純損益	-303,168			
累積欠損金	5,575,998			
経常収支比率	93.8		96.5	98.6
医業収支比率	55.4		86.0	61.2
修正医業収支比率	55.0		83.2	58.7
他会計繰入金対経常収益比率	43.6		11.5	34.5
他会計繰入金対医業収益比率	80.8		13.7	57.7
他会計繰入金対総収益比率	41.7		11.5	33.3
実質収益対経常費用比率	52.9		85.4	64.6

備考：
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表　(千円)

区分	決算額
資産合計	207,284,511
１ 固定資産	183,246,810
（1）有形固定資産	173,944,666
（2）無形固定資産	2,433,875
（3）投資その他の資産	6,868,269
２ 流動資産	24,037,701
（1）現金及び預金	3,419,730
（2）未収金及び未収収益	19,942,624
（3）貸倒引当金（△）	35,904
（4）貯蔵品	662,600
３ 繰延資産	-
負債合計	131,396,482
１ 固定負債	98,196,618
（1）建設改良費等の財源に充てるための企業債	58,676,913
（2）その他の企業債	2,091,573
（3）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
（4）その他の長期借入金	8,000,000
（5）引当金	29,428,132
（6）リース債務	-
２ 流動負債	23,332,579
（1）建設改良費等の財源に充てるための企業債	10,686,459
（2）その他の企業債	338,207
（3）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
（4）その他の長期借入金	-
（5）引当金	3,875,464
（6）リース債務	-
（7）一時借入金	-
（8）未払金及び未払費用	7,844,266
（9）前受金及び前受収益	-
３ 繰延収益	9,867,285
（1）長期前受金	34,161,454
（2）長期前受金収益化累計額（△）	24,294,169
（3）繰延運営権対価	-
（4）繰延運営権対価収益化累計額（△）	-
（5）運営権者更新投資	-
（6）運営権者更新投資収益化累計額（△）	-
資本合計	75,888,029
１ 資本金	27,336,629
２ 剰余金	48,551,400
（1）資本剰余金	91,373,303
（2）利益剰余金	-42,821,903
負債・資本合計	207,284,511
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額（△）	-
資本不足額（繰延収益控除後）（△）	-

備考
当該貸借対照表の数値は、事業単位（当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある）の決算額である。

他会計からの繰入状況 (千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,208,906	1,295,823
資本勘定繰入	309,803	433,636
計	1,518,709	1,729,459

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額 (千円)	不良債務比率 (%)
令和５年度	-	-
令和４年度	-	-
令和３年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率 (%)	45.4
健全化法上の資金不足額 (千円)	-
健全化法上の資金不足比率 (%)	-
地財法上の資金不足額 (千円)	-
地財法上の資金不足比率 (%)	-

備考：

・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうちの他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。

・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
うちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から
他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
占める割合をいう。

・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補塡債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況（令和５年度）

都道府県名	岩手県
市町村・組合名	盛岡市
病院名	盛岡市立病院

※特殊診療機能欄　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※指定病院の状況欄　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透　訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	19,668 ㎡	不採算地区中核病院	非該当
診療科数	17	指定病院の状況	救臨感　輪
許可公営企業		看護配置	１０：１
ＤＰＣ対象病院	対象	経営形態	直営
		類似区分	200床以上～300床未満

病床利用率・平均在院日数 (%・日)

区分	病床数	令和５年度	令和４年度	令和３年度
一般	180	58.4	48.3	57.5
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	80	22.5	19.9	38.3
感染症	8	-	5.9	29.5
計	268	46.0	38.6	50.9
平均在院日数（一般病床のみ）		15.8	13.2	12.4

設立団体の状況

人口 (人)		289,731
決算規模 (千円)		131,148,887
標準財政規模 (千円)		67,507,083
財政力指数		0.71
経常収支比率 (%)		96.1
健全化判断比率	実質赤字比率 (%)	-
	連結実質赤字比率 (%)	-
	実質公債費比率 (%)	10.3
	将来負担比率 (%)	75.6

損益計算書 (千円・%)

区分	決算額	費用医業収益	全国平均	類似平均
総収益	3,866,997			
１ 経常収益	3,811,951			
（１）医業収益	3,071,717			
（うち修正医業収益）	2,986,721			
① 入院収益	2,010,436			
② 外来収益	853,047			
診療収入計	2,863,483			
③ 繰延運営権対価収益	-			
④ 運営権者更新投資収益	-			
⑤ その他医業収益	208,234			
（うち他会計負担金）	84,996			
（２）医業外収益	740,234			
（うち国・都道府県補助金）	279,469			
（うち他会計補助・負担金）	334,066			
（うち長期前受金戻入）	105,768			
（うち資本費繰入収益）	-			
（３）特別利益	55,046			
（うち他会計繰入金）	-			
総費用	4,763,541			
２ 経常費用	4,755,836			
（１）医業費用	4,534,035			
① 職員給与費	2,613,991	85.1	58.7	63.9
② 材料費	627,346	20.4	26.9	21.1
（うち薬品費）	245,622	8.0	14.8	10.6
（うち薬品費以外の医薬材料費）	379,893	12.4	11.7	10.2
③ 減価償却費	298,668	9.7	8.5	9.3
④ 経費	979,160	31.9	21.5	28.2
（うち委託料）	611,623	19.9	11.5	14.0
⑤ 研究研修費	10,650			
⑥ 資産減耗費	4,220			
（２）医業外費用	221,801			
（うち支払利息）	52,163	1.7	0.9	1.0
（３）特別損失	7,705			
損益 経常損益	-943,885			
損益 純損益	-896,544			
累積欠損金	6,596,460			
経常収支比率	80.2		96.5	93.2
医業収支比率	67.7		86.0	81.2
修正医業収支比率	65.9		83.2	77.9
他会計繰入金対経常収益比率	11.0		11.5	13.2
他会計繰入金対医業収益比率	13.6		13.7	16.1
他会計繰入金対総収益比率	10.8		11.5	13.3
実質収益対経常費用比率	71.3		85.4	80.9

備考：
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表 (千円)

区分	決算額
資産合計	5,449,872
１ 固定資産	4,587,058
（１）有形固定資産	4,584,705
（２）無形固定資産	157
（３）投資その他の資産	2,196
２ 流動資産	862,814
（１）現金及び預金	334,425
（２）未収金及び未収収益	497,023
（３）貸倒引当金（△）	19,549
（４）貯蔵品	50,915
３ 繰延資産	-
負債合計	7,550,930
１ 固定負債	5,880,376
（１）建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,081,758
（２）その他の企業債	-
（３）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	2,809,650
（４）その他の長期借入金	-
（５）引当金	988,968
（６）リース債務	-
２ 流動負債	1,172,926
（１）建設改良費等の財源に充てるための企業債	644,228
（２）その他の企業債	-
（３）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
（４）その他の長期借入金	-
（５）引当金	171,943
（６）リース債務	-
（７）一時借入金	-
（８）未払金及び未払費用	338,951
（９）前受金及び前受収益	-
３ 繰延収益	497,628
（１）長期前受金	3,043,056
（２）長期前受金収益化累計額（△）	2,545,428
（３）繰延運営権対価	-
（４）繰延運営権対価収益化累計額（△）	-
（５）運営権者更新投資	-
（６）運営権者更新投資収益化累計額（△）	-
資本合計	-2,101,058
１ 資本金	3,612,504
２ 剰余金	-5,713,562
（１）資本剰余金	882,898
（２）利益剰余金	-6,596,460
負債・資本合計	5,449,872
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額（△）	2,101,058
資本不足額（繰延収益控除後）（△）	1,603,430
備考	

他会計からの繰入状況 (千円)

区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	419,062	419,062
資本勘定繰入	385,923	581,096
計	804,985	1,000,158

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移

年度	不良債務額 (千円)	不良債務比率 (%)
令和５年度	-	-
令和４年度	-	-
令和３年度	-	-

資金不足等の状況

累積欠損金比率 (%)	214.7
健全化法上の資金不足額 (千円)	-
健全化法上の資金不足比率 (%)	-
地財法上の資金不足額 (千円)	-
地財法上の資金不足比率 (%)	-

備考：

・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうちの他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。

・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
うちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から
他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
占める割合をいう。

・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補塡債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況（令和５年度）

都道府県名	岩手県

市町村・組合名	一関市
病院名	一関市国民健康保険藤沢病院

※特殊診療機能欄　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※指定病院の状況欄　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

施設及び業務概況等

法適用区分	条例全部	特殊診療機能	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第２種該当
建物面積	3,736 ㎡	不採算地区中核病院	
診療科数	5	指定病院の状況	救　輪
許可公営企業		看護配置	１０：１
ＤＰＣ対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	50床未満

病床利用率・平均在院日数

（%・日）

区分	病床数	令和５年度	令和４年度	令和３年度
一般	44	70.2	69.1	79.0
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	44	70.2	69.1	79.0
平均在院日数（一般病床のみ）		14.0	14.7	15.6

設立団体の状況

人口（人）		111,932
決算規模（千円）		74,255,720
標準財政規模（千円）		40,578,043
財政力指数		0.36
経常収支比率（%）		94.4
健全化判断比率	実質赤字比率（%）	-
	連結実質赤字比率（%）	-
	実質公債費比率（%）	9.5
	将来負担比率（%）	55.0

損益計算書

（千円・%）

区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,013,376			
１ 経常収益	992,442			
（1）医業収益	855,447			
（うち修正医業収益）	819,153			
① 入院収益	412,841			
② 外来収益	354,327			
診療収入計	767,168			
③ 繰延運営権対価収益	-			
④ 運営権者更新投資収益	-			
⑤ その他医業収益	88,279			
（うち他会計負担金）	36,294			
（2）医業外収益	136,995			
（うち国・都道府県補助金）	3,315			
（うち他会計補助・負担金）	91,382			
（うち長期前受金戻入）	39,511			
（うち資本費繰入収益）	-			
（3）特別利益	20,934			
（うち他会計繰入金）	-			
総費用	1,018,843			
２ 経常費用	1,018,843			
（1）医業費用	987,275			
① 職員給与費	580,849	67.9	58.7	89.5
② 材料費	137,167	16.0	26.9	13.4
（うち薬品費）	81,774	9.6	14.8	7.2
（うち薬品費以外の医薬材料費）	40,003	4.7	11.7	5.5
③ 減価償却費	87,430	10.2	8.5	14.0
④ 経費	177,502	20.7	21.5	46.3
（うち委託料）	56,907	6.7	11.5	22.2
⑤ 研究研修費	1,116			
⑥ 資産減耗費	3,211			
（2）医業外費用	31,568			
（うち支払利息）	1,793	0.2	0.9	1.0
（3）特別損失	-			
損益 経常損益	-26,401			
損益 純損益	-5,467			
累積欠損金	-			
経常収支比率	97.4		96.5	97.3
医業収支比率	86.6		86.0	60.9
修正医業収支比率	83.0		83.2	56.2
他会計繰入金対経常収益比率	12.9		11.5	35.0
他会計繰入金対医業収益比率	14.9		13.7	59.4
他会計繰入金対総収益比率	12.6		11.5	35.0
実質収益対経常費用比率	84.9		85.4	63.3

備考：
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表

（千円）

区分	決算額
資産合計	1,923,942
１ 固定資産	904,234
（1）有形固定資産	893,279
（2）無形固定資産	-
（3）投資その他の資産	10,955
２ 流動資産	1,019,708
（1）現金及び預金	886,621
（2）未収金及び未収収益	129,814
（3）貸倒引当金（△）	5,255
（4）貯蔵品	8,528
３ 繰延資産	-
負債合計	981,457
１ 固定負債	258,369
（1）建設改良費等の財源に充てるための企業債	162,738
（2）その他の企業債	-
（3）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
（4）その他の長期借入金	-
（5）引当金	95,531
（6）リース債務	-
２ 流動負債	128,645
（1）建設改良費等の財源に充てるための企業債	59,977
（2）その他の企業債	-
（3）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
（4）その他の長期借入金	-
（5）引当金	26,007
（6）リース債務	-
（7）一時借入金	-
（8）未払金及び未払費用	38,563
（9）前受金及び前受収益	-
３ 繰延収益	594,443
（1）長期前受金	1,418,298
（2）長期前受金収益化累計額（△）	823,855
（3）繰延運営権対価	-
（4）繰延運営権対価収益化累計額（△）	-
（5）運営権者更新投資	-
（6）運営権者更新投資収益化累計額（△）	-
資本合計	942,485
１ 資本金	384,554
２ 剰余金	557,931
（1）資本剰余金	-
（2）利益剰余金	557,931
負債・資本合計	1,923,942
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額（△）	-
資本不足額（繰延収益控除後）（△）	-

備考

他会計からの繰入状況

（千円）

区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	127,676	127,676
資本勘定繰入	53,043	53,043
計	180,719	180,719

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移

年度	不良債務額（千円）	不良債務比率（%）
令和５年度	-	-
令和４年度	-	-
令和３年度	-	-

資金不足等の状況

累積欠損金比率（%）	-
健全化法上の資金不足額（千円）	-
健全化法上の資金不足比率（%）	-
地財法上の資金不足額（千円）	-
地財法上の資金不足比率（%）	-

備考：

・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうちの他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。

・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
うちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から
他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
占める割合をいう。

・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補塡債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況（令和５年度）

都道府県名
岩手県

市町村・組合名	八幡平市
病院名	八幡平市立病院

※特殊診療機能欄　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※指定病院の状況欄　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透　訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第２種該当
建物面積	6,013 ㎡	不採算地区中核病院	
診療科数	4	指定病院の状況	救 臨
許可公営企業		看護配置	１３：１
ＤＰＣ対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	50床以上～100床未満

病床利用率・平均在院日数				(%・日)
区分	病床数	令和５年度	令和４年度	令和３年度
一般	60	68.4	65.8	68.6
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	60	68.4	65.8	68.6
平均在院日数（一般病床のみ）		1.3	16.2	18.2

設立団体の状況		
人口 (人)		24,023
決算規模 (千円)		19,120,944
標準財政規模 (千円)		11,921,390
財政力指数		0.30
経常収支比率 (%)		93.3
健全化判断比率	実質赤字比率 (%)	-
	連結実質赤字比率 (%)	-
	実質公債費比率 (%)	15.5
	将来負担比率 (%)	32.2

損益計算書　(千円・%)

区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,710,615			
１ 経常収益	1,709,238			
（1）医業収益	1,186,877			
（うち修正医業収益）	1,147,189			
① 入院収益	498,852			
② 外来収益	541,327			
診療収入計	1,040,179			
③ 繰延運営権対価収益	-			
④ 運営権者更新投資収益	-			
⑤ その他医業収益	146,698			
（うち他会計負担金）	39,688			
（2）医業外収益	522,361			
（うち国・都道府県補助金）	54,667			
（うち他会計補助・負担金）	395,979			
（うち長期前受金戻入）	29,565			
（うち資本費繰入収益）	-			
（3）特別利益	1,377			
（うち他会計繰入金）	-			
総費用	1,613,467			
２ 経常費用	1,613,467			
（1）医業費用	1,599,891			
① 職員給与費	761,572	64.2	58.7	78.7
② 材料費	176,650	14.9	26.9	14.5
（うち薬品費）	118,976	10.0	14.8	7.7
（うち薬品費以外の医薬材料費）	56,910	4.8	11.7	6.1
③ 減価償却費	353,199	29.8	8.5	11.8
④ 経費	305,783	25.8	21.5	32.3
（うち委託料）	168,145	14.2	11.5	15.3
⑤ 研究研修費	2,391			
⑥ 資産減耗費	296			
（2）医業外費用	13,576			
（うち支払利息）	5,565	0.5	0.9	1.1
（3）特別損失	-			
損益 経常損益	95,771			
損益 純損益	97,148			
累積欠損金	-			
経常収支比率	105.9		96.5	96.4
医業収支比率	74.2		86.0	72.4
修正医業収支比率	71.7		83.2	68.2
他会計繰入金対経常収益比率	25.5		11.5	24.2
他会計繰入金対医業収益比率	36.7		13.7	34.4
他会計繰入金対総収益比率	25.5		11.5	24.2
実質収益対経常費用比率	78.9		85.4	73.0

備考：
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表　(千円)

区分	決算額
資産合計	7,259,361
１ 固定資産	4,473,634
（1）有形固定資産	4,373,393
（2）無形固定資産	241
（3）投資その他の資産	100,000
２ 流動資産	2,785,727
（1）現金及び預金	2,534,014
（2）未収金及び未収収益	236,811
（3）貸倒引当金（△）	500
（4）貯蔵品	15,402
３ 繰延資産	-
負債合計	2,917,830
１ 固定負債	2,229,208
（1）建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,229,208
（2）その他の企業債	-
（3）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
（4）その他の長期借入金	-
（5）引当金	-
（6）リース債務	-
２ 流動負債	321,106
（1）建設改良費等の財源に充てるための企業債	218,068
（2）その他の企業債	-
（3）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
（4）その他の長期借入金	-
（5）引当金	41,251
（6）リース債務	-
（7）一時借入金	-
（8）未払金及び未払費用	59,575
（9）前受金及び前受収益	-
３ 繰延収益	367,516
（1）長期前受金	492,492
（2）長期前受金収益化累計額（△）	124,976
（3）繰延運営権対価	-
（4）繰延運営権対価収益化累計額（△）	-
（5）運営権者更新投資	-
（6）運営権者更新投資収益化累計額（△）	-
資本合計	4,341,531
１ 資本金	3,417,757
２ 剰余金	923,774
（1）資本剰余金	61,178
（2）利益剰余金	862,596
負債・資本合計	7,259,361
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額（△）	-
資本不足額（繰延収益控除後）（△）	-
備考	

他会計からの繰入状況 (千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	239,094	435,667
資本勘定繰入	129,259	238,258
計	368,353	673,925

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額 (千円)	不良債務比率 (%)
令和５年度	-	-
令和４年度	-	-
令和３年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率 (%)	-
健全化法上の資金不足額 (千円)	-
健全化法上の資金不足比率 (%)	-
地財法上の資金不足額 (千円)	-
地財法上の資金不足比率 (%)	-

備考：

・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうちの他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。

・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
うちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から
他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
占める割合をいう。

・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補塡債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況（令和５年度）

都道府県名	岩手県

市町村・組合名	奥州市
病院名	奥州市総合水沢病院

※特殊診療機能欄　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※指定病院の状況欄　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透　訓ガ
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第２種該当
建物面積	16,726 ㎡	不採算地区中核病院	
診療科数	11	指定病院の状況	救　感　輪
許可公営企業		看護配置	１０：１
ＤＰＣ対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	100床以上～200床未満

病床利用率・平均在院日数				(%・日)
区分	病床数	令和５年度	令和４年度	令和３年度
一般	145	30.1	26.9	32.0
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	-	-	0.1
計	149	29.4	26.3	31.2
平均在院日数（一般病床のみ）		17.1	14.7	15.2

設立団体の状況		
人口 (人)		112,937
決算規模 (千円)		62,209,521
標準財政規模 (千円)		34,874,894
財政力指数		0.44
経常収支比率 (%)		94.7
健全化判断比率	実質赤字比率 (%)	-
	連結実質赤字比率 (%)	-
	実質公債費比率 (%)	15.5
	将来負担比率 (%)	24.4

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,943,794			
１ 経常収益	2,942,651			
（1）医業収益	1,809,556			
（うち修正医業収益）	1,633,965			
① 入院収益	668,097			
② 外来収益	831,835			
診療収入計	1,499,932			
③ 繰延運営権対価収益	-			
④ 運営権者更新投資収益	-			
⑤ その他医業収益	309,624			
（うち他会計負担金）	175,591			
（2）医業外収益	1,133,095			
（うち国・都道府県補助金）	254,773			
（うち他会計補助・負担金）	832,436			
（うち長期前受金戻入）	22,049			
（うち資本費繰入収益）	-			
（3）特別利益	1,143			
（うち他会計繰入金）	-			
総費用	3,225,631			
２ 経常費用	3,208,041			
（1）医業費用	3,052,781			
① 職員給与費	1,689,260	93.4	58.7	67.7
② 材料費	330,856	18.3	26.9	18.3
（うち薬品費）	176,470	9.8	14.8	8.6
（うち薬品費以外の医薬材料費）	152,091	8.4	11.7	9.1
③ 減価償却費	173,192	9.6	8.5	10.3
④ 経費	850,040	47.0	21.5	29.4
（うち委託料）	388,741	21.5	11.5	13.6
⑤ 研究研修費	6,015			
⑥ 資産減耗費	3,418			
（2）医業外費用	155,260			
（うち支払利息）	10,088	0.6	0.9	1.1
（3）特別損失	17,590			
損益 経常損益	-265,390			
損益 純損益	-281,837			
累積欠損金	842,385			
経常収支比率	91.7		96.5	95.4
医業収支比率	59.3		86.0	79.1
修正医業収支比率	53.5		83.2	74.9
他会計繰入金対経常収益比率	34.3		11.5	17.0
他会計繰入金対医業収益比率	55.7		13.7	21.8
他会計繰入金対総収益比率	34.2		11.5	17.1
実質収益対経常費用比率	60.3		85.4	79.2

備考：
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表 (千円)	
区分	決算額
資産合計	7,764,002
１ 固定資産	4,070,080
（1）有形固定資産	3,966,177
（2）無形固定資産	1,103
（3）投資その他の資産	102,800
２ 流動資産	3,693,922
（1）現金及び預金	3,187,669
（2）未収金及び未収収益	479,052
（3）貸倒引当金（△）	2,300
（4）貯蔵品	27,501
３ 繰延資産	-
負債合計	1,844,280
１ 固定負債	898,755
（1）建設改良費等の財源に充てるための企業債	372,048
（2）その他の企業債	-
（3）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
（4）その他の長期借入金	-
（5）引当金	-
（6）リース債務	526,707
２ 流動負債	782,532
（1）建設改良費等の財源に充てるための企業債	162,783
（2）その他の企業債	-
（3）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
（4）その他の長期借入金	-
（5）引当金	163,298
（6）リース債務	141,637
（7）一時借入金	-
（8）未払金及び未払費用	312,814
（9）前受金及び前受収益	-
３ 繰延収益	162,993
（1）長期前受金	685,615
（2）長期前受金収益化累計額（△）	522,622
（3）繰延運営権対価	-
（4）繰延運営権対価収益化累計額（△）	-
（5）運営権者更新投資	-
（6）運営権者更新投資収益化累計額（△）	-
資本合計	5,919,722
１ 資本金	7,235,417
２ 剰余金	-1,315,695
（1）資本剰余金	202,501
（2）利益剰余金	-1,518,196
負債・資本合計	7,764,002
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額（△）	-
資本不足額（繰延収益控除後）（△）	-

備考
当該貸借対照表の数値は、事業単位（当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある）の決算額である。

他会計からの繰入状況 (千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	970,827	1,008,027
資本勘定繰入	135,543	159,143
計	1,106,370	1,167,170

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額 (千円)	不良債務比率 (%)
令和５年度	-	-
令和４年度	-	-
令和３年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率 (%)	63.7
健全化法上の資金不足額 (千円)	-
健全化法上の資金不足比率 (%)	-
地財法上の資金不足額 (千円)	-
地財法上の資金不足比率 (%)	-

備考：

・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうちの他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。

・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
うちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から
他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
占める割合をいう。

・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補塡債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況（令和５年度）

都道府県名
岩手県

市町村・組合名	奥州市
病院名	奥州市国民健康保険まごころ病院

※特殊診療機能欄　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※指定病院の状況欄　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

施設及び業務概況等

法適用区分	条例全部	特殊診療機能	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第２種該当
建物面積	3,705 ㎡	不採算地区中核病院	
診療科数	7	指定病院の状況	救 臨
許可公営企業		看護配置	１０：１
ＤＰＣ対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	50床未満

病床利用率・平均在院日数

（%・日）

区分	病床数	令和５年度	令和４年度	令和３年度
一般	48	66.2	67.4	66.6
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	48	66.2	67.4	66.6
平均在院日数（一般病床のみ）		19.2	22.6	21.2

設立団体の状況

人口（人）		112,937
決算規模（千円）		62,209,521
標準財政規模（千円）		34,874,894
財政力指数		0.44
経常収支比率（%）		94.7
健全化判断比率	実質赤字比率（%）	-
	連結実質赤字比率（%）	-
	実質公債費比率（%）	15.5
	将来負担比率（%）	24.2

損益計算書

（千円・%）

区分	決算額	費用医業収益	全国平均	類似平均
総収益	993,526			
１ 経常収益	992,598			
（１）医業収益	773,727			
（うち修正医業収益）	742,497			
① 入院収益	370,087			
② 外来収益	337,152			
診療収入計	707,239			
③ 繰延運営権対価収益	-			
④ 運営権者更新投資収益	-			
⑤ その他医業収益	66,488			
（うち他会計負担金）	31,230			
（２）医業外収益	218,871			
（うち国・都道府県補助金）	2,656			
（うち他会計補助・負担金）	209,194			
（うち長期前受金戻入）	3,224			
（うち資本費繰入収益）	-			
（３）特別利益	928			
（うち他会計繰入金）	-			
総費用	1,112,067			
２ 経常費用	1,084,633			
（１）医業費用	1,050,451			
① 職員給与費	657,156	84.9	58.7	89.5
② 材料費	88,784	11.5	26.9	13.4
（うち薬品費）	42,204	5.5	14.8	7.2
（うち薬品費以外の医薬材料費）	39,228	5.1	11.7	5.5
③ 減価償却費	72,841	9.4	8.5	14.0
④ 経費	229,454	29.7	21.5	46.3
（うち委託料）	115,794	15.0	11.5	22.2
⑤ 研究研修費	1,880			
⑥ 資産減耗費	336			
（２）医業外費用	34,182			
（うち支払利息）	6,104	0.8	0.9	1.0
（３）特別損失	27,434			
損益 経常損益	-92,035			
損益 純損益	-118,541			
累積欠損金	803,489			
経常収支比率	91.5		96.5	97.3
医業収支比率	73.7		86.0	60.9
修正医業収支比率	70.7		83.2	56.2
他会計繰入金対経常収益比率	24.2		11.5	35.0
他会計繰入金対医業収益比率	31.1		13.7	59.4
他会計繰入金対総収益比率	24.2		11.5	35.0
実質収益対経常費用比率	69.3		85.4	63.3

備考：
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表

（千円）

区分	決算額
資産合計	7,764,002
１ 固定資産	4,070,080
（１）有形固定資産	3,966,177
（２）無形固定資産	1,103
（３）投資その他の資産	102,800
２ 流動資産	3,693,922
（１）現金及び預金	3,187,669
（２）未収金及び未収収益	479,052
（３）貸倒引当金（△）	2,300
（４）貯蔵品	27,501
３ 繰延資産	-
負債合計	1,844,280
１ 固定負債	898,755
（１）建設改良費等の財源に充てるための企業債	372,048
（２）その他の企業債	-
（３）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
（４）その他の長期借入金	-
（５）引当金	-
（６）リース債務	526,707
２ 流動負債	782,532
（１）建設改良費等の財源に充てるための企業債	162,783
（２）その他の企業債	-
（３）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
（４）その他の長期借入金	-
（５）引当金	163,298
（６）リース債務	141,637
（７）一時借入金	-
（８）未払金及び未払費用	312,814
（９）前受金及び前受収益	-
３ 繰延収益	162,993
（１）長期前受金	685,615
（２）長期前受金収益化累計額（△）	522,622
（３）繰延運営権対価	-
（４）繰延運営権対価収益化累計額（△）	-
（５）運営権者更新投資	-
（６）運営権者更新投資収益化累計額（△）	-
資本合計	5,919,722
１ 資本金	7,235,417
２ 剰余金	-1,315,695
（１）資本剰余金	202,501
（２）利益剰余金	-1,518,196
負債・資本合計	7,764,002
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額（△）	-
資本不足額（繰延収益控除後）（△）	-

備考
当該貸借対照表の数値は、事業単位（当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある）の決算額である。

他会計からの繰入状況

（千円）

区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	237,661	240,424
資本勘定繰入	53,576	53,576
計	291,237	294,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移

年度	不良債務額（千円）	不良債務比率（%）
令和５年度	-	-
令和４年度	-	-
令和３年度	-	-

資金不足等の状況

累積欠損金比率（%）	63.7
健全化法上の資金不足額（千円）	-
健全化法上の資金不足比率（%）	-
地財法上の資金不足額（千円）	-
地財法上の資金不足比率（%）	-

備考：

・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうちの他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。

・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。

・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補塡債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況（令和５年度）

都道府県名
岩手県

市町村・組合名	葛巻町
病院名	国保葛巻病院

※特殊診療機能欄　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※指定病院の状況欄　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

施設及び業務概況等

法適用区分	当然財務	特殊診療機能	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第１種該当
建物面積	5,630 ㎡	不採算地区中核病院	
診療科数	5	指定病院の状況	救 臨
許可公営企業		看護配置	１３：１
ＤＰＣ対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	50床以上～100床未満

病床利用率・平均在院日数

（%・日）

区分	病床数	令和５年度	令和４年度	令和３年度
一般	42	67.3	69.4	65.0
療養	18	18.2	25.1	25.5
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	60	52.6	56.2	53.1
平均在院日数（一般病床のみ）		11.5	13.1	14.5

設立団体の状況

人口（人）		5,634
決算規模（千円）		8,251,324
標準財政規模（千円）		4,325,429
財政力指数		0.18
経常収支比率（%）		89.0
健全化判断比率	実質赤字比率（%）	-
	連結実質赤字比率（%）	-
	実質公債費比率（%）	7.4
	将来負担比率（%）	-

損益計算書

（千円・%）

区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,072,596			
１ 経常収益	977,891			
（1）医業収益	661,635			
（うち修正医業収益）	621,947			
① 入院収益	336,343			
② 外来収益	231,886			
診療収入計	568,229			
③ 繰延運営権対価収益	-			
④ 運営権者更新投資収益	-			
⑤ その他医業収益	93,406			
（うち他会計負担金）	39,688			
（2）医業外収益	316,256			
（うち国・都道府県補助金）	15,395			
（うち他会計補助・負担金）	224,754			
（うち長期前受金戻入）	74,101			
（うち資本費繰入収益）	-			
（3）特別利益	94,705			
（うち他会計繰入金）	75,000			
総費用	1,085,092			
２ 経常費用	1,082,254			
（1）医業費用	1,038,205			
① 職員給与費	460,373	69.6	58.7	78.7
② 材料費	93,548	14.1	26.9	14.5
（うち薬品費）	48,617	7.3	14.8	7.7
（うち薬品費以外の医薬材料費）	36,410	5.5	11.7	6.1
③ 減価償却費	149,430	22.6	8.5	11.8
④ 経費	324,157	49.0	21.5	32.3
（うち委託料）	134,559	20.3	11.5	15.3
⑤ 研究研修費	7,789			
⑥ 資産減耗費	2,908			
（2）医業外費用	44,049			
（うち支払利息）	7,838	1.2	0.9	1.1
（3）特別損失	2,838			
損益 経常損益	-104,363			
損益 純損益	-12,496			
累積欠損金	659,138			
経常収支比率	90.4		96.5	96.4
医業収支比率	63.7		86.0	72.4
修正医業収支比率	59.9		83.2	68.2
他会計繰入金対経常収益比率	27.0		11.5	24.2
他会計繰入金対医業収益比率	40.0		13.7	34.4
他会計繰入金対総収益比率	31.6		11.5	24.2
実質収益対経常費用比率	65.9		85.4	73.0

備考：
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表

（千円）

区分	決算額
資産合計	3,344,679
１ 固定資産	2,454,944
（1）有形固定資産	2,454,944
（2）無形固定資産	-
（3）投資その他の資産	-
２ 流動資産	889,735
（1）現金及び預金	786,159
（2）未収金及び未収収益	103,867
（3）貸倒引当金（△）	10,131
（4）貯蔵品	9,840
３ 繰延資産	-
負債合計	2,995,211
１ 固定負債	2,500,627
（1）建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,247,565
（2）その他の企業債	-
（3）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
（4）その他の長期借入金	-
（5）引当金	253,062
（6）リース債務	-
２ 流動負債	212,129
（1）建設改良費等の財源に充てるための企業債	124,092
（2）その他の企業債	-
（3）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
（4）その他の長期借入金	-
（5）引当金	18,455
（6）リース債務	-
（7）一時借入金	-
（8）未払金及び未払費用	68,607
（9）前受金及び前受収益	-
３ 繰延収益	282,455
（1）長期前受金	1,152,090
（2）長期前受金収益化累計額（△）	869,635
（3）繰延運営権対価	-
（4）繰延運営権対価収益化累計額（△）	-
（5）運営権者更新投資	-
（6）運営権者更新投資収益化累計額（△）	-
資本合計	349,468
１ 資本金	997,606
２ 剰余金	-648,138
（1）資本剰余金	-
（2）利益剰余金	-648,138
負債・資本合計	3,344,679
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額（△）	-
資本不足額（繰延収益控除後）（△）	-
備考	

他会計からの繰入状況

（千円）

区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	259,632	339,442
資本勘定繰入	55,258	55,258
計	314,890	394,700

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移

年度	不良債務額（千円）	不良債務比率（%）
令和５年度	-	-
令和４年度	-	-
令和３年度	-	-

資金不足等の状況

累積欠損金比率（%）	99.6
健全化法上の資金不足額（千円）	-
健全化法上の資金不足比率（%）	-
地財法上の資金不足額（千円）	-
地財法上の資金不足比率（%）	-

備考：

・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうちの他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。

・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
うちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から
他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
占める割合をいう。

・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補塡債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況（令和５年度）

都道府県名
岩手県

市町村・組合名	西和賀町
病院名	町立西和賀さわうち病院

※特殊診療機能欄　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※指定病院の状況欄　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透　訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第１種該当
建物面積	4,451 ㎡	不採算地区中核病院	
診療科数	11	指定病院の状況	救
許可公営企業		看護配置	１３：１
ＤＰＣ対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	50床未満

病床利用率・平均在院日数				(%･日)
区分	病床数	令和５年度	令和４年度	令和３年度
一般	40	47.1	56.7	61.9
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	40	47.1	56.7	61.9
平均在院日数（一般病床のみ）		18.4	22.3	20.5

設立団体の状況		
人口 (人)		5,134
決算規模 (千円)		7,540,914
標準財政規模 (千円)		4,441,496
財政力指数		0.14
経常収支比率 (%)		92.9
健全化判断比率	実質赤字比率 (%)	-
	連結実質赤字比率 (%)	-
	実質公債費比率 (%)	15.8
	将来負担比率 (%)	53.1

損益計算書　(千円・%)

区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	917,408			
１経常収益	917,408			
（1）医業収益	567,803			
（うち修正医業収益）	528,312			
①入院収益	255,639			
②外来収益	251,494			
診療収入計	507,133			
③繰延運営権対価収益	-			
④運営権者更新投資収益	-			
⑤その他医業収益	60,670			
（うち他会計負担金）	39,491			
（2）医業外収益	349,605			
（うち国・都道府県補助金）	13,675			
（うち他会計補助・負担金）	272,427			
（うち長期前受金戻入）	52,241			
（うち資本費繰入収益）	-			
（3）特別利益	-			
（うち他会計繰入金）	-			
総費用	982,750			
２経常費用	982,750			
（1）医業費用	918,352			
①職員給与費	528,347	93.1	58.7	89.5
②材料費	72,231	12.7	26.9	13.4
（うち薬品費）	27,471	4.8	14.8	7.2
（うち薬品費以外の医薬材料費）	38,844	6.8	11.7	5.5
③減価償却費	105,049	18.5	8.5	14.0
④経費	210,318	37.0	21.5	46.3
（うち委託料）	76,244	13.4	11.5	22.2
⑤研究研修費	1,827			
⑥資産減耗費	580			
（2）医業外費用	64,398			
（うち支払利息）	1,555	0.3	0.9	1.0
（3）特別損失	-			
損益 経常損益	-65,342			
損益 純損益	-65,342			
累積欠損金	886,975			
経常収支比率	93.4		96.5	97.3
医業収支比率	61.8		86.0	60.9
修正医業収支比率	57.5		83.2	56.2
他会計繰入金対経常収益比率	34.0		11.5	35.0
他会計繰入金対医業収益比率	54.9		13.7	59.4
他会計繰入金対総収益比率	34.0		11.5	35.0
実質収益対経常費用比率	61.6		85.4	63.3

備考：
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表　(千円)

区分	決算額
資産合計	2,422,401
１固定資産	1,892,086
（1）有形固定資産	1,844,306
（2）無形固定資産	-
（3）投資その他の資産	47,780
２流動資産	530,315
（1）現金及び預金	147,627
（2）未収金及び未収収益	362,044
（3）貸倒引当金（△）	-
（4）貯蔵品	20,644
３繰延資産	-
負債合計	972,263
１固定負債	474,078
（1）建設改良費等の財源に充てるための企業債	284,276
（2）その他の企業債	-
（3）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
（4）その他の長期借入金	-
（5）引当金	189,224
（6）リース債務	578
２流動負債	100,631
（1）建設改良費等の財源に充てるための企業債	34,579
（2）その他の企業債	-
（3）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
（4）その他の長期借入金	-
（5）引当金	31,639
（6）リース債務	201
（7）一時借入金	-
（8）未払金及び未払費用	34,212
（9）前受金及び前受収益	-
３繰延収益	397,554
（1）長期前受金	1,008,693
（2）長期前受金収益化累計額（△）	611,139
（3）繰延運営権対価	-
（4）繰延運営権対価収益化累計額（△）	-
（5）運営権者更新投資	-
（6）運営権者更新投資収益化累計額（△）	-
資本合計	1,450,138
１資本金	2,336,961
２剰余金	-886,823
（1）資本剰余金	-
（2）利益剰余金	-886,823
負債・資本合計	2,422,401
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額（△）	-
資本不足額（繰延収益控除後）（△）	-
備考	

他会計からの繰入状況 (千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	311,160	311,918
資本勘定繰入	19,125	38,250
計	330,285	350,168

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額 (千円)	不良債務比率 (%)
令和５年度	-	-
令和４年度	-	-
令和３年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率 (%)	156.2
健全化法上の資金不足額 (千円)	-
健全化法上の資金不足比率 (%)	-
地財法上の資金不足額 (千円)	-
地財法上の資金不足比率 (%)	-

備考：

・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうちの他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。

・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
うちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から
他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
占める割合をいう。

・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補塡債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況（令和５年度）

都道府県名
岩手県

市町村・組合名	洋野町
病院名	国保種市病院

※特殊診療機能欄　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※指定病院の状況欄　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院
地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

施設及び業務概況等

法適用区分	当然財務	特殊診療機能	透
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第１種該当
建物面積	4,438 ㎡	不採算地区中核病院	
診療科数	3	指定病院の状況	救 臨
許可公営企業		看護配置	１０：１
ＤＰＣ対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	50床未満

病床利用率・平均在院日数

（%・日）

区分	病床数	令和５年度	令和４年度	令和３年度
一般	41	61.9	48.6	55.6
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	41	61.9	48.6	55.6
平均在院日数（一般病床のみ）		19.8	18.4	18.4

設立団体の状況

人口（人）		15,091
決算規模（千円）		11,051,149
標準財政規模（千円）		6,849,493
財政力指数		0.26
経常収支比率（%）		91.3
健全化判断比率	実質赤字比率（%）	-
	連結実質赤字比率（%）	-
	実質公債費比率（%）	11.5
	将来負担比率（%）	-

損益計算書

（千円・%）

区分	決算額	費用医業収益	全国平均	類似平均
総収益	768,394			
１ 経常収益	768,394			
（１）医業収益	534,343			
（うち修正医業収益）	489,564			
① 入院収益	215,869			
② 外来収益	252,018			
診療収入計	467,887			
③ 繰延運営権対価収益	-			
④ 運営権者更新投資収益	-			
⑤ その他医業収益	66,456			
（うち他会計負担金）	44,779			
（２）医業外収益	234,051			
（うち国・都道府県補助金）	1,785			
（うち他会計補助・負担金）	214,853			
（うち長期前受金戻入）	12,351			
（うち資本費繰入収益）	-			
（３）特別利益	-			
（うち他会計繰入金）	-			
総費用	830,324			
２ 経常費用	830,324			
（１）医業費用	796,355			
① 職員給与費	431,149	80.7	58.7	89.5
② 材料費	87,539	16.4	26.9	13.4
（うち薬品費）	27,358	5.1	14.8	7.2
（うち薬品費以外の医薬材料費）	54,342	10.2	11.7	5.5
③ 減価償却費	68,608	12.8	8.5	14.0
④ 経費	207,343	38.8	21.5	46.3
（うち委託料）	76,621	14.3	11.5	22.2
⑤ 研究研修費	898			
⑥ 資産減耗費	818			
（２）医業外費用	33,969			
（うち支払利息）	511	0.1	0.9	1.0
（３）特別損失	-			
損益 経常損益	-61,930			
損益 純損益	-61,930			
累積欠損金	246,657			
経常収支比率	92.5		96.5	97.3
医業収支比率	67.1		86.0	60.9
修正医業収支比率	61.5		83.2	56.2
他会計繰入金対経常収益比率	33.8		11.5	35.0
他会計繰入金対医業収益比率	48.6		13.7	59.4
他会計繰入金対総収益比率	33.8		11.5	35.0
実質収益対経常費用比率	61.3		85.4	63.3

備考：
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表

（千円）

区分	決算額
資産合計	1,402,990
１ 固定資産	421,696
（１）有形固定資産	394,480
（２）無形固定資産	221
（３）投資その他の資産	26,995
２ 流動資産	981,294
（１）現金及び預金	445,383
（２）未収金及び未収収益	530,510
（３）貸倒引当金（△）	1,917
（４）貯蔵品	7,318
３ 繰延資産	-
負債合計	386,340
１ 固定負債	220,268
（１）建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
（２）その他の企業債	-
（３）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
（４）その他の長期借入金	-
（５）引当金	215,678
（６）リース債務	4,590
２ 流動負債	83,536
（１）建設改良費等の財源に充てるための企業債	20,832
（２）その他の企業債	-
（３）建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
（４）その他の長期借入金	-
（５）引当金	31,033
（６）リース債務	2,685
（７）一時借入金	-
（８）未払金及び未払費用	27,166
（９）前受金及び前受収益	-
３ 繰延収益	82,536
（１）長期前受金	206,605
（２）長期前受金収益化累計額（△）	124,069
（３）繰延運営権対価	-
（４）繰延運営権対価収益化累計額（△）	-
（５）運営権者更新投資	-
（６）運営権者更新投資収益化累計額（△）	-
資本合計	1,016,650
１ 資本金	1,251,207
２ 剰余金	-234,557
（１）資本剰余金	-
（２）利益剰余金	-234,557
負債・資本合計	1,402,990
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額（△）	-
資本不足額（繰延収益控除後）（△）	-

備考

他会計からの繰入状況

（千円）

区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	259,632	259,632
資本勘定繰入	19,698	19,698
計	279,330	279,330

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移

年度	不良債務額（千円）	不良債務比率（%）
令和５年度	-	-
令和４年度	-	-
令和３年度	-	-

資金不足等の状況

累積欠損金比率（%）	46.2
健全化法上の資金不足額（千円）	-
健全化法上の資金不足比率（%）	-
地財法上の資金不足額（千円）	-
地財法上の資金不足比率（%）	-

備考：

・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうちの他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。

・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。

・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補塡債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。